

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-207844

(43)Date of publication of application : 26.07.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

(21)Application number : 2001-306073

(71)Applicant : FUJI XEROX CO LTD

(22)Date of filing : 02.10.2001

(72)Inventor : NOMURA YASUHIKO  
KONNO NOBORU

(30)Priority

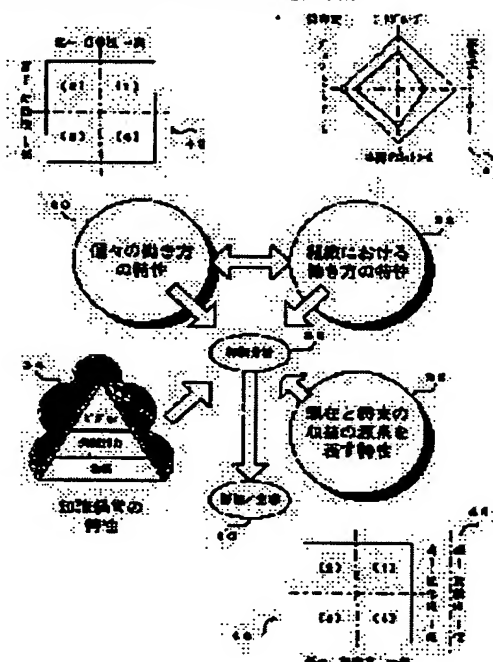
Priority number : 2000345309 Priority date : 13.11.2000 Priority country : JP

## (54) KNOWLEDGE MANAGEMENT DIAGNOSTIC METHOD, ITS DEVICE, PROGRAM AND STORAGE MEDIUM

(57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To automatically generate a community to evaluate/diagnose corporate management from the viewpoint of creation/utilization of knowledge and to enhance the corporate management.

**SOLUTION:** Questionnaires regarding consciousness and work styles of employees are collected, a management status of an organization is diagnosed based on the questionnaires, directionality of improvement/innovation is indicated and the community of people to be interested in specific knowledge and with close work styles is automatically generated. Knowledge property is first sorted into characteristics 30 of individual work styles, characteristics 32 of work styles in the organization and indication characteristics 36 of sources of profit in the present and in the future and characteristics 34 of the knowledge management are added to them. Correlation analysis is performed by using the characteristics in correlation analysis 38, an analysis result by the correlation analysis 38 is evaluated and the community is generated from the analysis result in evaluation/generation 40.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-207844

(P2002-207844A)

(43) 公開日 平成14年7月26日 (2002.7.26)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

G 0 6 F 17/60

識別記号

1 5 0

1 7 4

F I

G 0 6 F 17/60

テーマコード\* (参考)

1 5 0

1 7 4

審査請求 未請求 請求項の数34 O L (全 22 頁)

(21) 出願番号 特願2001-306073 (P2001-306073)

(22) 出願日 平成13年10月2日 (2001.10.2)

(31) 優先権主張番号 特願2000-345309 (P2000-345309)

(32) 優先日 平成12年11月13日 (2000.11.13)

(33) 優先権主張国 日本 (J P)

(71) 出願人 000005496

富士ゼロックス株式会社

東京都港区赤坂二丁目17番22号

(72) 発明者 野村 恭彦

東京都港区赤坂二丁目17番22号 富士ゼロ

ックス株式会社内

(72) 発明者 紺野 登

東京都杉並区阿佐ヶ谷北2-12-21-301

株式会社コラム内

(74) 代理人 100079049

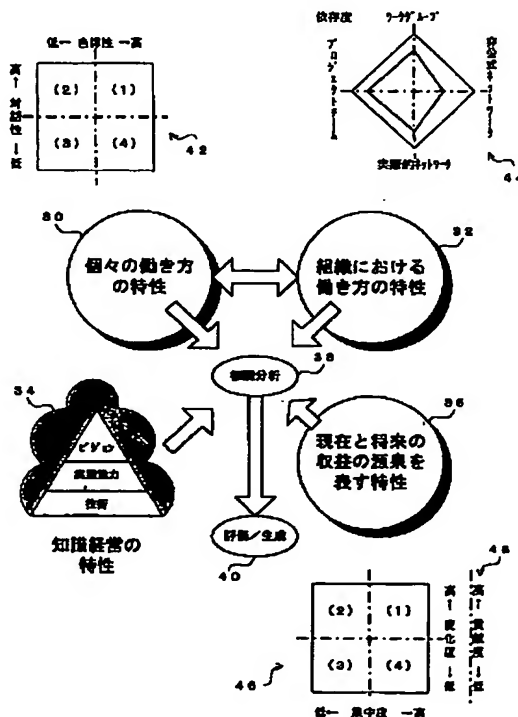
弁理士 中島 淳 (外3名)

(54) 【発明の名称】 知識経営診断方法、装置、プログラム及び記憶媒体

(57) 【要約】

【課題】 知識を創造・活用するという観点から、企業経営を評価・診断し、それを高めるためのコミュニティを自動生成する。

【解決手段】 従業員の意識や働き方等に関するアンケートを集め、そのアンケートに基づき、組織の経営状況を診断し、改善・改革の方向性を示すと共に、特定の知識に興味を持つ人々やワークスタイルの近い人々のコミュニティを自動生成する。まず知識資産を個々の働き方の特性30、組織における働き方の特性32、現在と将来の収益の源泉を表す36とに分類し、知識経営の特性34を加える。これらの特性を用いて相関分析38は、相関分析を行い、評価/生成40は、相関分析38による分析結果を評価したり分析結果からコミュニティを生成する。



# 【特許請求の範囲】

【請求項1】 予め定めた組織における複数の対象者に関するデータを集めて知識経営を診断するときに前記組織に関する情報を、通信回線を介して提示する知識経営診断方法であって、

前記複数の対象者の各々から各々が有する少なくとも知識資産及び行動に関する特徴資産を表す意識データを予め集めて蓄積し、

蓄積した意識データを分析しかつ分析結果を、前記通信回線を介して提示側端末へ向けて出力することにより前記組織に関する情報を提示することを特徴とする知識経営診断方法。

【請求項2】 前記知識資産は、前記組織に対して前記複数の対象者の各々が貢献するときの時間的な知識資産であることを特徴とする請求項1に記載の知識経営診断方法。

【請求項3】 前記知識資産として、前記複数の対象者の各々が有する知識経営に関する知識経営資産をさらに集めて蓄積することを特徴とする請求項1または請求項2に記載の知識経営診断方法。

【請求項4】 前記特徴資産は、前記複数の対象者の各々が仕事を処理する状態を表すことを特徴とする請求項1乃至請求項3の何れか1項に記載の知識経営診断方法。

【請求項5】 前記仕事を処理する状態は、仕事に対する自律性、関係者との連携、及び処理する場所の少なくとも1つの状態を表すことを特徴とする請求項4に記載の知識経営診断方法。

【請求項6】 前記仕事を処理する状態は、仕事を処理するときの関係者との連携状態を表すことを特徴とする請求項4または請求項5に記載の知識経営診断方法。

【請求項7】 前記蓄積した意識データを分析する場合、前記知識資産及び前記特徴資産の双方の意識データの間の相関関係を求めることを特徴とする請求項1乃至請求項6の何れか1項に記載の知識経営診断方法。

【請求項8】 前記蓄積した意識データを分析する場合、前記知識資産及び前記仕事を処理するときの関係者との連携状態を表す特徴資産の双方の意識データの間の相関関係を求めることを特徴とする請求項1乃至請求項6の何れか1項に記載の知識経営診断方法。

【請求項9】 前記蓄積した意識データを分析する場合、前記知識資産及び前記知識経営資産の双方の意識データの間の相関関係を求めることを特徴とする請求項1乃至請求項6の何れか1項に記載の知識経営診断方法。

【請求項10】 前記蓄積した意識データを分析する場合、前記知識経営資産及び前記特徴資産の双方の意識データの間の相関関係を求めることを特徴とする請求項1乃至請求項6の何れか1項に記載の知識経営診断方法。

【請求項11】 前記蓄積した意識データを分析する場合、前記知識経営資産及び前記仕事を処理するときの関

係者との連携状態を表す特徴資産の双方の意識データの間の相関関係を求めることを特徴とする請求項1乃至請求項6の何れか1項に記載の知識経営診断方法。

【請求項12】 前記分析結果に基づいて、予め入力された前記知識資産及び前記特徴資産の少なくとも一方の資産を略有する対象者を分類しかつ分類された対象者群を表す情報共有体をさらに構築することを特徴とする請求項1乃至請求項11の何れか1項に記載の知識経営診断方法。

【請求項13】 前記分析結果に基づいて、前記組織における複数の対象者を分類しかつ分類された対象者群を表す情報共有体をさらに構築することを特徴とする請求項1乃至請求項12の何れか1項に記載の知識経営診断方法。

【請求項14】 前記組織として複数の組織を予め定め、各々の組織について前記分析を実施し、各組織間の比較結果を分析結果をさらに含めることを特徴とする請求項1乃至請求項13の何れか1項に記載の知識経営診断方法。

【請求項15】 前記意識データは、サーバが予め集めて蓄積することを特徴とする請求項1乃至請求項14の何れか1項に記載の知識経営診断方法。

【請求項16】 前記意識データは、前記対象者によって重みが付された意識データを集めることを特徴とする請求項15に記載の知識経営診断方法。

【請求項17】 前記対象者を予め分類し、分類された対象者毎に前記意識データを集めることを特徴とする請求項16に記載の知識経営診断方法。

【請求項18】 予め定めた組織における複数の対象者に関するデータを集めて知識経営を診断するときに前記組織に関する情報を、通信回線を介して提示する知識経営診断装置において、

前記複数の対象者の各々から各々が有する少なくとも知識資産及び行動に関する特徴資産を表す意識データを集めて蓄積する蓄積手段と、

蓄積した意識データを分析しかつ分析結果を、前記通信回線を介して提示側端末へ向けて出力することにより前記組織に関する情報を提示する提示手段と、

を備えたことを特徴とする知識経営診断装置。

【請求項19】 予め定めた組織における複数の対象者に関するデータを集めて知識経営を診断するときに前記組織に関する情報を、通信回線を介して提示する知識経営診断プログラムであって、

前記複数の対象者の各々から各々が有する少なくとも知識資産及び行動に関する特徴資産を表す意識データを集めて蓄積させ、

蓄積した意識データを分析しかつ分析結果を、前記通信回線を介して提示側端末へ向けて出力することにより前記組織に関する情報を提示させる、

ことを特徴とする知識経営診断プログラム。

【請求項20】 予め定めた組織における複数の対象者に関するデータを集めて知識経営を診断するときに前記組織に関する情報を、通信回線を介して提示する知識経営診断プログラムを記憶した記憶媒体であって、前記複数の対象者の各々から各々が有する少なくとも知識資産及び行動に関する特徴資産を表す意識データを集めて蓄積させ、蓄積した意識データを分析しかつ分析結果を、前記通信回線を介して提示側端末へ向けて出力することにより前記組織に関する情報を提示させる、ことを特徴とする知識経営診断プログラムを記憶した記憶媒体。

【請求項21】 経験的な知識に関する項目と、定型的な知識に関する項目とを少なくとも含む複数の知識項目を表示し、複数の対象者から入力された、それらの対象者が所属している組織にとって現在重要である知識項目を第1の意識データとして蓄積し、各知識項目毎の入力数を算出すると共に、前記複数の対象者から入力された、これらの対象者が所属している組織にとって将来重要となる知識項目を第2の意識データとして蓄積し、各知識項目毎の入力数を算出し、前記第1の意識データに関する算出結果と前記第2の意識データに関する算出結果とを比較し、その比較結果を各知識項目と対応づけて表示することを特徴とする知識経営診断方法。

【請求項22】 経営者層に属する対象者に、その対象者が所属している組織にとって現在重要である知識項目と将来重要となる知識項目を入力させ、この入力結果を前記比較結果と合わせて表示することを特徴とする請求項21に記載の知識経営診断方法。

【請求項23】 複数の対象者に関するデータを集めて知識経営を診断するときに該診断結果を、通信回線を介して提示する知識経営診断装置において、経験的な知識に関する項目と、定型的な知識に関する項目とを少なくとも含む複数の知識項目を表示するための表示情報を出力する出力手段と、前記知識項目の表示に対応して、複数の対象者から入力された、それらの対象者が所属している組織にとって現在重要である知識項目を第1の意識データとして蓄積し、各知識項目毎の入力数を算出すると共に、前記複数の対象者から入力された、これらの対象者が所属している組織にとって将来重要となる知識項目を第2の意識データとして蓄積し、各知識項目毎の入力数を算出する算出手段と、前記第1の意識データに関する算出結果と前記第2の意識データに関する算出結果とを比較し、その比較結果を各知識項目と対応づけて表示する提示手段と、を備えたことを特徴とする知識経営診断装置。

【請求項24】 複数の対象者に関するデータを集めて

知識経営を診断するときに該診断結果を、通信回線を介して提示する知識経営診断プログラムであって、経験的な知識に関する項目と、定型的な知識に関する項目とを少なくとも含む複数の知識項目を表示させるための表示情報を出力させ、

前記知識項目の表示に対応して、複数の対象者から入力された、それらの対象者が所属している組織にとって現在重要である知識項目を第1の意識データとして蓄積させ、各知識項目毎の入力数を算出させると共に、前記複数の対象者から入力された、これらの対象者が所属している組織にとって将来重要となる知識項目を第2の意識データとして蓄積させ、各知識項目毎の入力数を算出させ、

前記第1の意識データに関する算出結果と前記第2の意識データに関する算出結果とを比較させ、その比較結果を各知識項目と対応づけて表示させることを特徴とする知識経営診断プログラム。

【請求項25】 複数の対象者に関するデータを集めて知識経営を診断するときに該診断結果を、通信回線を介して提示する知識経営診断プログラムを記憶した記憶媒体であって、経験的な知識に関する項目と、定型的な知識に関する項目とを少なくとも含む複数の知識項目を表示させるための表示情報を出力させ、

前記知識項目の表示に対応して、複数の対象者から入力された、それらの対象者が所属している組織にとって現在重要である知識項目を第1の意識データとして蓄積させ、各知識項目毎の入力数を算出させると共に、前記複数の対象者から入力された、これらの対象者が所属している組織にとって将来重要となる知識項目を第2の意識データとして蓄積させ、各知識項目毎の入力数を算出させ、

前記第1の意識データに関する算出結果と前記第2の意識データに関する算出結果とを比較させ、その比較結果を各知識項目と対応づけて表示させることを特徴とする知識経営診断プログラムを記憶した記憶媒体。

【請求項26】 経験的な知識に関する項目と、定型的な知識に関する項目とを少なくとも含む複数の知識項目を表示し、

複数の対象者から入力された、それらの対象者が所属している組織にとって現在重要である知識項目を第1の意識データとして蓄積し、各知識項目毎の入力数を算出すると共に、前記複数の対象者から入力された、これらの対象者が所属している組織にとって将来重要となる知識項目を第2の意識データとして蓄積し、各知識項目毎の入力数を算出し、

複数の対象者から入力された、複数の知識項目における対象者自身の貢献度に関する情報を第3の意識データとして蓄積し、

選択された知識項目において、前記貢献度に関するデー

タを入力した対象者を特定することを特徴とする知識経営診断方法。

【請求項27】 前記特定された対象者について予め記憶されている、仕事に対する自律性、仕事における関係者とのインタラクション、仕事を処理する場所などのワークスタイルと、予め記憶されている理想とされるワークスタイルとを比較して、その差分を提示することを特徴とする請求項26に記載の知識経営診断方法。

【請求項28】 複数の対象者に関するデータを集めて知識経営を診断するときに該診断結果を、通信回線を介して提示する知識経営診断装置において、

経験的な知識に関する項目と、経験的な知識に関する項目と、定型的な知識に関する項目とを少なくとも含む複数の知識項目を表示するための表示情報を出力する出力手段と、

複数の対象者から入力された、それらの対象者が所属している組織にとって現在重要である知識項目を第1の意識データとして蓄積し、各知識項目毎の入力数を算出すると共に、前記複数の対象者から入力された、これらの対象者が所属している組織にとって将来重要となる知識項目を第2の意識データとして蓄積し、各知識項目毎の入力数を算出する算出手段と、

複数の対象者から入力された、複数の知識項目における対象者自身の貢献度に関する情報を第3の意識データとして蓄積する蓄積手段と、

選択された知識項目において、前記貢献度に関するデータを入力した対象者を特定する特定手段と、

を備えたことを特徴とする知識経営診断装置。

【請求項29】 複数の対象者に関するデータを集めて知識経営を診断するときに該診断結果を、通信回線を介して提示する知識経営診断プログラムであって、

経験的な知識に関する項目と、経験的な知識に関する項目と、定型的な知識に関する項目とを少なくとも含む複数の知識項目を表示するための表示情報を出力させ、

複数の対象者から入力された、それらの対象者が所属している組織にとって現在重要である知識項目を第1の意識データとして蓄積させ、各知識項目毎の入力数を算出させると共に、前記複数の対象者から入力された、これらの対象者が所属している組織にとって将来重要となる知識項目を第2の意識データとして蓄積させ、各知識項目毎の入力数を算出させ、

複数の対象者から入力された、複数の知識項目における対象者自身の貢献度に関する情報を第3の意識データとして蓄積させ、

選択された知識項目において、前記貢献度に関するデータを入力した対象者を特定させることを特徴とする知識経営診断プログラム。

【請求項30】 複数の対象者に関するデータを集めて知識経営を診断するときに該診断結果を、通信回線を介して提示する知識経営診断プログラムを記憶した記憶媒

体であって、

経験的な知識に関する項目と、経験的な知識に関する項目と、定型的な知識に関する項目とを少なくとも含む複数の知識項目を表示するための表示情報を出力させ、

複数の対象者から入力された、それらの対象者が所属している組織にとって現在重要である知識項目を第1の意識データとして蓄積させ、各知識項目毎の入力数を算出させると共に、前記複数の対象者から入力された、これらの対象者が所属している組織にとって将来重要となる知識項目を第2の意識データとして蓄積させ、各知識項目毎の入力数を算出させ、

複数の対象者から入力された、複数の知識項目における対象者自身の貢献度に関する情報を第3の意識データとして蓄積させ、

選択された知識項目において、前記貢献度に関するデータを入力した対象者を特定させることを特徴とする知識経営診断プログラムを記憶した記憶媒体。

【請求項31】 経験的な知識に関する項目と、定型的な知識に関する項目とを少なくとも含む複数の知識項目を表示し、

複数の対象者から入力された、それらの対象者が所属している組織にとって現在重要である知識項目を第1の意識データとして蓄積し、各知識項目毎の入力数を算出すると共に、前記複数の対象者から入力された、これらの対象者が所属している組織にとって将来重要となる知識項目を第2の意識データとして蓄積し、各知識項目毎の入力数を算出し、

前記第1の意識データに関する算出結果と前記第2の意識データに関する算出結果を比較し、その比較結果に基づいて、前記組織を複数の類型に分類し、その分類結果を出力することを特徴とする知識経営診断方法。

【請求項32】 複数の対象者に関するデータを集めて知識経営を診断するときに該診断結果を、通信回線を介して提示する知識経営診断装置において、

経験的な知識に関する項目と、定型的な知識に関する項目とを少なくとも含む複数の知識項目を表示するための表示情報を出力する出力手段と、

複数の対象者から入力された、それらの対象者が所属している組織にとって現在重要である知識項目を第1の意識データとして蓄積し、各知識項目毎の入力数を算出すると共に、前記複数の対象者から入力された、これらの対象者が所属している組織にとって将来重要となる知識項目を第2の意識データとして蓄積し、各知識項目毎の入力数を算出する算出手段と、

前記第1の意識データに関する算出結果と前記第2の意識データに関する算出結果を比較し、その比較結果に基づいて、前記組織を複数の類型に分類し、その分類結果を出力する分類結果出力手段と、

を備えたことを特徴とする知識経営診断装置。

【請求項33】 複数の対象者に関するデータを集めて

知識経営を診断するときに該診断結果を、通信回線を介して提示する知識経営診断プログラムであって、経験的な知識に関する項目と、定型的な知識に関する項目とを少なくとも含む複数の知識項目を表示するための表示情報を出力させ、

複数の対象者から入力された、それらの対象者が所属している組織にとって現在重要である知識項目を第1の意識データとして蓄積させ、各知識項目毎の入力数を算出させると共に、前記複数の対象者から入力された、これらの対象者が所属している組織にとって将来重要となる知識項目を第2の意識データとして蓄積させ、各知識項目毎の入力数を算出させ、

前記第1の意識データに関する算出結果と前記第2の意識データに関する算出結果を比較させ、その比較結果に基づいて、前記組織を複数の類型に分類させ、その分類結果を出力させることを特徴とする知識経営診断プログラム。

【請求項34】 複数の対象者に関するデータを集めて知識経営を診断するときに該診断結果を、通信回線を介して提示する知識経営診断プログラムを記憶した記憶媒体であって、

経験的な知識に関する項目と、定型的な知識に関する項目とを少なくとも含む複数の知識項目を表示するための表示情報を出力させ、

複数の対象者から入力された、それらの対象者が所属している組織にとって現在重要である知識項目を第1の意識データとして蓄積させ、各知識項目毎の入力数を算出させると共に、前記複数の対象者から入力された、これらの対象者が所属している組織にとって将来重要となる知識項目を第2の意識データとして蓄積させ、各知識項目毎の入力数を算出させ、

前記第1の意識データに関する算出結果と前記第2の意識データに関する算出結果を比較させ、その比較結果に基づいて、前記組織を複数の類型に分類させ、その分類結果を出力させることを特徴とする知識経営診断プログラムを記憶した記憶媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、知識経営診断方法、装置、プログラム及び記憶媒体にかかり、特に、知識経営を診断するときに組織の特徴を各種情報として提示する知識経営診断方法、装置、プログラム及び記憶媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】人それぞれが有する知識やスタイルを、伝達したり理解させたりすることは容易ではない。すなわち、一般的に、人それぞれの思いや考えを的確に表現したり第三者へ伝えたりすることは困難であり、それを把握しようとする場合には、把握する側において経験的にノウハウを蓄積してそれを用いることが多い。特に、

集団で動くことが予測される組織にあつては、知識経営という観点から、個々の能力や特徴を的確に把握したり、目的に合致する能力や特徴を有する個人を集めたりすることが要求される。

【0003】このため、従来、個々人が有する知識という観点から様々なアプローチによって、組織の特徴を見いだそうとする提案がなされている。例えば、従業員の間や役員の間でアンケートを取り、その平均やズレを見る手法は多数存在し、企業においても日常的に用いられている。また、自動的な組織設計を行うため、組織の設計における熟練者や経験者の知識をデータベースとして格納しこれを用いることで状況に応じた組織設計を自動的に行う自動組織設計システムが提案されている（特開平07-319970号公報参照）。この技術では、組織構造を過去のノウハウに基づき容易に設計するためのデータベース・システムを提案している。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、知識経営を診断するための一例として、組織の特徴を知識という観点で測る方法は存在したが、それは現状把握を主な目的としており、時間的に変化する組織の形態という観点から考えていない。すなわち、組織とは画一的なものではなく、常時変動することが予測される。また、能動的に変革を動議づける場合もある。このためには、知識という観点のみでは不十分であった。

【0005】すなわち、組織にとって重要な情報や知識の流通プラットフォームとしては、フォーマルな組織構造だけではなく、インフォーマルなコミュニティの重要性が認識されてきている（参照：Etienne Wenger, William Snyder: Communities of Practice The Organizational Frontier, Harvard Business Review, Jan-Feb, 2000）。このようなインフォーマルなコミュニティの発見や構築の観点は考えられておらず、組織経営の中で有効に活かすことが困難であった。

【0006】本発明は、上記事実を考慮して、組織の傾向に応じた知識能力向上を可能とする知識経営診断方法、装置、プログラム及び記憶媒体の提供を目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明では、知識を創造・活用するという観点から、企業経営を評価・診断し、それを高めるためのコミュニティを自動生成することを想定している。このコミュニティとは、情報流通の場や情報体そのものをいう。例えば、一人一人の従業員等の対象者の意識や働き方に関するアンケートに基づき、組織の経営状況を診断し、改善・改革の方向性を示すと共に、特定の知識に興味を有する人々やワークスタイルに近い人々のコミュニティを自動生成し、組織の知的生産性や創造性を高めることを可能とするものである。

【0008】これは、従来、組織の特徴を知識という観



点で測る方法は存在したが、それは現状把握が目的であり、その調査結果に基づき知識能力を向上させる具体的方法を与えるものではなかったのに対し、本発明では、組織内の知識と働き方に関する調査に基づき、知識流通の基盤となるコミュニティを自動生成することにより、組織の傾向に応じた知識能力向上を可能とすることである。

【0009】すなわち、第1の発明は、予め定めた組織における複数の対象者に関するデータを集めて、知識経営を診断するときに前記組織に関する情報を、通信回線を介して提示する知識経営診断方法であって、前記複数の対象者の各々から各々が有する少なくとも知識資産及び行動に関する特徴資産を表す意識データを予め集めて蓄積し、蓄積した意識データを分析しかつ分析結果を、前記通信回線を介して提示側端末へ向けて出力することにより前記組織に関する情報を提示することを特徴とする。

【0010】本発明では、予め定めた組織における複数の対象者に関するデータを集める。このデータは、複数の対象者の各々から各々が有する少なくとも知識資産及び行動に関する特徴資産を表す意識データを予め集めて蓄積したものである。これによって、少なくとも知識資産及び行動に関する特徴資産をデータとして蓄積できる。この蓄積した意識データを分析しかつ分析結果を、通信回線を介して提示側端末へ向けて出力することにより組織に関する情報を提示する。これは知識経営を診断した診断結果にも相当する。従って、組織または対象者の知識資産と、組織または対象者の行動に関する特徴資産の関連を分析して提示できるので、知識のみに限定されない自由度が高い分析結果を導出できる。

【0011】前記知識資産は、前記組織に対して前記複数の対象者の各々が貢献するときの時間的な知識資産であることを特徴とする。

【0012】知識資産は、時間と共にその内容や形態が変動する場合がある。すなわち、対象者が貢献するときが現在であるのか将来に予測されるのかによって、組織の構築が変化する。このため、組織に対して複数の対象者の各々が貢献するときの時間的な知識資産を用いることで、組織に関する情報として時間的な差異、例えば現在から将来にわたる貢献度の向上や維持、下落を、情報として提供することができる。例えば、組織にとって重要な知識資産についての蓄積した意識データを基にして、すなわち、組織にとって現在重要な知識領域であること、組織にとって将来重要になる知識領域となることのそれぞれを基準として組織を分類できる。また、対象者が組織の構築に貢献している知識領域を捉えることで、すなわち知識領域の貢献傾向が現在であるか将来であるかによって、さらに組織を例えば現状強化型、変革型に分類できる。

【0013】前記知識資産として、前記複数の対象者の

各々が有する知識経営に関する知識経営資産をさらに集めて蓄積することを特徴とする。

【0014】組織は、その経営を考慮することが前提としてあり、知識資産を経営的な観点からも捉えることで、知識資産を経営的に見た自由度が高い分析結果を提示できる。例えば、ビジョン、実践能力、テクノロジー、カルチャー、などの項目について知識経営の要件を挙げ、それが満たされているかを考慮することで知識経営的な観点から分析することが可能となる。

【0015】前記特徴資産は、前記複数の対象者の各々が仕事を処理する状態を表すことを特徴とする。

【0016】特徴資産は、行動に関するものであり、その行動として複数の対象者の各々が仕事を処理する状態を表すことにより、ワークスタイルとして捉えることができ、より行動の形態を容易に規定することができる。

【0017】前記仕事を処理する状態は、仕事に対する自律性、関係者との連携、及び処理する場所の少なくとも1つの状態を表すことを特徴とする。

【0018】仕事を処理するには、対象者それぞれにスタイルがあるが、個々人のワークスタイルに関し、自律性、対話の度合い、どこで仕事をしているかなど、1日の仕事の仕方に関して自立性や行動範囲などを基準としてワークスタイルで分類できる。これにより、より細やかな情報の提示が可能となる。

【0019】前記仕事を処理する状態は、仕事を処理するときの関係者との連携状態を表すことを特徴とする。

【0020】必要な知識を獲得する際、個々人のみによる作業のみではなく、第三者の協力を得たりネットワーク上のデータを利用したりするが多い。そこで、この利用するワークグループやプロジェクト・チームなどのヒューマン・ネットワークへの依存性を含めることで、特徴資産をより詳細に分類して扱うことができる。

【0021】前記蓄積した意識データを分析する場合、前記知識資産及び前記特徴資産の双方の意識データの間の相関関係を求めることを特徴とする。

【0022】このように、知識資産及び特徴資産の双方の意識データの間の相関関係を求めることで、蓄積した意識データを分析すれば、例えば、知識資産に関する戦略が変革型を目指しているのであれば、特徴資産の例であるワークスタイルは自律性・外部指向の双方が強くなければならないが、この関係の差異や傾向を容易に導出することができる。

【0023】前記蓄積した意識データを分析する場合、前記知識資産及び前記仕事を処理するときの関係者との連携状態を表す特徴資産の双方の意識データの間の相関関係を求めることを特徴とする。

【0024】このように、知識資産及び前記仕事を処理するときの関係者との連携状態を表す特徴資産の双方の意識データの間の相関関係を求めることで、蓄積した意識データを分析すれば、例えば、知識資産戦略が変革型

を目指しているのであれば、特徴資産の例であるヒューマン・ネットワークはコミュニティ・オブ・プラクティス依存度が強くなければならないが、この関係の差異や傾向を容易に導出することができる。

【0025】前記蓄積した意識データを分析する場合、前記知識資産及び前記知識経営資産の双方の意識データの間の相関関係を求めることを特徴とする。

【0026】このように、知識資産及び前記知識経営資産の双方の意識データの間の相関関係を求めることで、蓄積した意識データを分析すれば、例えば知識資産経営度の向上と、知識資産のあるべき姿への移行が比例しているかを判断することが容易となる。

【0027】前記蓄積した意識データを分析する場合、前記知識経営資産及び前記特徴資産の双方の意識データの間の相関関係を求めることを特徴とする。

【0028】このように、知識経営資産及び前記特徴資産の双方の意識データの間の相関関係を求めることで、蓄積した意識データを分析すれば、例えば知識資産経営度の向上と、ワークスタイルのあるべき姿への移行が比例しているかを判断することが容易となる。

【0029】前記蓄積した意識データを分析する場合、前記知識経営資産及び前記仕事を処理するときの関係者との連携状態を表す特徴資産の双方の意識データの間の相関関係を求めることを特徴とする。

【0030】このように、知識経営資産及び前記仕事を処理するときの関係者との連携状態を表す特徴資産の双方の意識データの間の相関関係を求めることで、蓄積した意識データを分析すれば、例えば知識資産経営度の向上と、ヒューマン・ネットワークのあるべき姿への移行が比例しているかを判断することが容易となる。

【0031】前記分析結果に基づいて、予め入力された前記知識資産及び前記特徴資産の少なくとも一方の資産を略有する対象者を分類しかつ分類された対象者群を表す情報共有体をさらに構築することを特徴とする。

【0032】組織にあっては、管理職者などが意図する知識資産を有する対象者を集めたい場合がある。そこで、知識資産及び特徴資産の少なくとも一方の資産を意図するものとして予め入力し、これを略有する対象者を分類しかつ分類された対象者群を表す情報共有体をさらに構築することで、容易に管理職者などが意図する知識資産を有する対象者を集めることができる。

【0033】前記分析結果に基づいて、前記組織における複数の対象者を分類しかつ分類された対象者群を表す情報共有体をさらに構築することを特徴とする。

【0034】組織を調査や分析すると、一定の傾向を有する対象者が分布することがある。そこで、その分布に応じた対象者群を表す情報共有体を構築することで、組織内にあって規制の形態では表現しきれないグループなどのコミュニティを容易に構築することができる。このコミュニティには、メーリングリストなどの情報共有を

目的とする対象者をあらかず情報リストがある。

【0035】前記組織として複数の組織を予め定め、各々の組織について前記分析を実施し、各組織間の比較結果を分析結果をさらに含めることを特徴とする。

【0036】このようにすることによって、複数の組織の間や理想の組織が存在するとき、これらの差異を容易に把握して、組織のあるべき姿への移行を容易に行うことができる。

【0037】また、組織として複数の組織を定める場合、同一形態例えば同一企業の組織に限定されない。複数の組織形態であればよく、同業他社や複数の異なる企業の組織であってもよい。この場合、複数の組織について標準的な分析結果を求めてその標準的な分析結果に対する各組織の分析結果を求めることで、組織間の比較結果を分析結果を求めることができる。

【0038】このようにすることで、例えば組織として同業種の複数の組織を定めたとき、対象となる組織に対して、同業種における対象組織の傾向を分析結果として求めることができる。

【0039】前記意識データは、サーバが予め集めて蓄積することができる。

【0040】意識データを蓄積する場合、複数の対象者の各々が有する知識資産や行動に関する特徴資産を表す意識データを予め集めるが、このデータを集めるとき、対象者から通信回線を介して集めてもよく、直接データを入力することで集めることができる。この集める場合には、サーバで集めることにより一元的にデータを集約させること可能となる。

【0041】前記意識データは、前記対象者によって重みが付された意識データを集めることができる。

【0042】意識データは、複数の対象者の各々にとって、異なる見解を有する場合が多い。すなわち知識資産や行動に関する特徴資産を表す意識データは、対象者それぞれ個々のデータであり、意識データ毎に対象者が重要性や簡易性などのように重みを想定している場合がある。そこで、対象者によって重みが付された意識データを集めることで、対象者について個々の意識データを忠実に蓄積することができる。

【0043】前記対象者を予め分類し、分類された対象者毎に前記意識データを集めることができる。

【0044】意識データを蓄積するための、複数の対象者は、組織内において、その存在価値や担当などのように立場が異なる場合が多い。そこで、対象者を予め分類し、分類された対象者毎に意識データを集めることで、組織に対して、立場を考慮したデータの蓄積や分析を可能とすることができる。これによって、組織をより細分化したり、対極的に見たりした自由度が高い分析結果を導出できる。

【0045】前記知識経営診断方法は、次の知識経営診断装置によって容易に実現可能である。詳細には、予め



定めた組織における複数の対象者に関するデータを集めて知識経営を診断するときに前記組織に関する情報を、通信回線を介して提示する知識経営診断装置において、前記複数の対象者の各々から各々が有する少なくとも知識資産及び行動に関する特徴資産を表す意識データを集めて蓄積する蓄積手段と、蓄積した意識データを分析しかつ分析結果を、前記通信回線を介して提示側端末へ向けて出力することにより前記組織に関する情報を提示する提示手段と、を備えている。

【0046】また、次の知識経営診断プログラムによって、知識経営を診断する処理を容易に実現できる。詳細には、予め定めた組織における複数の対象者に関するデータを集めて知識経営を診断するときに前記組織に関する情報を、通信回線を介して提示する知識経営診断プログラムであって、知識経営診断プログラムが、前記複数の対象者の各々から各々が有する少なくとも知識資産及び行動に関する特徴資産を表す意識データを集めて蓄積させ、蓄積した意識データを分析しかつ分析結果を、前記通信回線を介して提示側端末へ向けて出力することにより前記組織に関する情報を提示させる。

【0047】また、次の知識経営診断プログラムを記憶した記憶媒体によって、知識経営を診断する処理をする知識経営診断プログラムを所持、搬送、コンピュータへインストールできる。詳細には、予め定めた組織における複数の対象者に関するデータを集めて知識経営を診断するときに前記組織に関する情報を、通信回線を介して提示する知識経営診断プログラムを記憶した記憶媒体であって、知識経営診断プログラムが、前記複数の対象者の各々から各々が有する少なくとも知識資産及び行動に関する特徴資産を表す意識データを集めて蓄積させ、蓄積した意識データを分析しかつ分析結果を、前記通信回線を介して提示側端末へ向けて出力することにより前記組織に関する情報を提示させる。

【0048】また、第2の発明の知識経営診断方法は、経験的な知識に関する項目と、定型的な知識に関する項目とを少なくとも含む複数の知識項目を表示し、複数の対象者から入力された、それらの対象者が所属している組織にとって現在重要である知識項目を第1の意識データとして蓄積し、各知識項目毎の入力数を算出すると共に、前記複数の対象者から入力された、これらの対象者が所属している組織にとって将来重要となる知識項目を第2の意識データとして蓄積し、各知識項目毎の入力数を算出し、前記第1の意識データに関する算出結果と前記第2の意識データに関する算出結果とを比較し、その比較結果を各知識項目と対応づけて表示することを特徴とする。

【0049】第2の発明の知識経営診断方法では、経営者層に属する対象者に、その対象者が所属している組織にとって現在重要である知識項目と将来重要となる知識項目を入力させ、この入力結果を前記比較結果と合わせ

て表示することを特徴とする。

【0050】また、第2の発明の知識経営診断方法は、次の知識経営診断装置によって容易に実現可能である。詳細には、複数の対象者に関するデータを集めて知識経営を診断するときに該診断結果を、通信回線を介して提示する知識経営診断装置において、経験的な知識に関する項目と、定型的な知識に関する項目とを少なくとも含む複数の知識項目を表示するための表示情報を出力する出力手段と、前記知識項目の表示に対応して、複数の対象者から入力された、それらの対象者が所属している組織にとって現在重要である知識項目を第1の意識データとして蓄積し、各知識項目毎の入力数を算出すると共に、前記複数の対象者から入力された、これらの対象者が所属している組織にとって将来重要となる知識項目を第2の意識データとして蓄積し、各知識項目毎の入力数を算出する算出手段と、前記第1の意識データに関する算出結果と前記第2の意識データに関する算出結果とを比較し、その比較結果を各知識項目と対応づけて表示する提示手段と、を備えたことを特徴とする。

【0051】また、次の知識経営診断プログラムによって、知識経営を診断する処理を容易に実現できる。詳細には、複数の対象者に関するデータを集めて知識経営を診断するときに該診断結果を、通信回線を介して提示する知識経営診断プログラムであって、経験的な知識に関する項目と、定型的な知識に関する項目とを少なくとも含む複数の知識項目を表示させるための表示情報を出力させ、前記知識項目の表示に対応して、複数の対象者から入力された、それらの対象者が所属している組織にとって現在重要である知識項目を第1の意識データとして蓄積させ、各知識項目毎の入力数を算出させると共に、前記複数の対象者から入力された、これらの対象者が所属している組織にとって将来重要となる知識項目を第2の意識データとして蓄積させ、各知識項目毎の入力数を算出させ、前記第1の意識データに関する算出結果と前記第2の意識データに関する算出結果とを比較させ、その比較結果を各知識項目と対応づけて表示させることを特徴とする。

【0052】また、次の知識経営診断プログラムを記憶した記憶媒体によって、知識経営を診断する処理をする知識経営診断プログラムを所持、搬送、コンピュータへインストールできる。詳細には、複数の対象者に関するデータを集めて知識経営を診断するときに該診断結果を、通信回線を介して提示する知識経営診断プログラムを記憶した記憶媒体であって、経験的な知識に関する項目と、定型的な知識に関する項目とを少なくとも含む複数の知識項目を表示させるための表示情報を出力させ、前記知識項目の表示に対応して、複数の対象者から入力された、それらの対象者が所属している組織にとって現在重要である知識項目を第1の意識データとして蓄積させ、各知識項目毎の入力数を算出させると共に、前記複

数の対象者から入力された、これらの対象者が所属している組織にとって将来重要となる知識項目を第2の意識データとして蓄積させ、各知識項目毎の入力数を算出させ、前記第1の意識データに関する算出結果と前記第2の意識データに関する算出結果とを比較させ、その比較結果を各知識項目と対応づけて表示させることを特徴とする。

【0053】第3の発明の知識経営診断方法では、経験的な知識に関する項目と、定型的な知識に関する項目とを少なくとも含む複数の知識項目を表示し、複数の対象者から入力された、それらの対象者が所属している組織にとって現在重要である知識項目を第1の意識データとして蓄積し、各知識項目毎の入力数を算出すると共に、前記複数の対象者から入力された、これらの対象者が所属している組織にとって将来重要となる知識項目を第2の意識データとして蓄積し、各知識項目毎の入力数を算出し、複数の対象者から入力された、複数の知識項目における対象者自身の貢献度に関する情報を第3の意識データとして蓄積し、選択された知識項目において、前記貢献度に関するデータを入力した対象者を特定することを特徴とする。

【0054】第3の発明の知識経営診断方法では、前記特定された対象者について予め記憶されている、仕事に対する自律性、仕事における関係者とのインタラクション、仕事を処理する場所などのワークスタイルと、予め記憶されている理想とされるワークスタイルとを比較して、その差分を提示することを特徴とする。

【0055】また、第3の発明の知識経営診断方法は、次の知識経営診断装置によって容易に実現可能である。詳細には、複数の対象者に関するデータを集めて知識経営を診断するときに該診断結果を、通信回線を介して提示する知識経営診断装置において、経験的な知識に関する項目と、経験的な知識に関する項目と、定型的な知識に関する項目とを少なくとも含む複数の知識項目を表示するための表示情報を出力する出力手段と、複数の対象者から入力された、それらの対象者が所属している組織にとって現在重要である知識項目を第1の意識データとして蓄積し、各知識項目毎の入力数を算出すると共に、前記複数の対象者から入力された、これらの対象者が所属している組織にとって将来重要となる知識項目を第2の意識データとして蓄積し、各知識項目毎の入力数を算出する算出手段と、複数の対象者から入力された、複数の知識項目における対象者自身の貢献度に関する情報を第3の意識データとして蓄積する蓄積手段と、選択された知識項目において、前記貢献度に関するデータを入力した対象者を特定する特定手段と、を備えたことを特徴とする。

【0056】また、次の知識経営診断プログラムによって、知識経営を診断する処理を容易に実現できる。詳細には、複数の対象者に関するデータを集めて知識経営を

診断するときに該診断結果を、通信回線を介して提示する知識経営診断プログラムであって、経験的な知識に関する項目と、経験的な知識に関する項目と、定型的な知識に関する項目とを少なくとも含む複数の知識項目を表示するための表示情報を出力させ、複数の対象者から入力された、それらの対象者が所属している組織にとって現在重要である知識項目を第1の意識データとして蓄積させ、各知識項目毎の入力数を算出させると共に、前記複数の対象者から入力された、これらの対象者が所属している組織にとって将来重要となる知識項目を第2の意識データとして蓄積させ、各知識項目毎の入力数を算出させ、複数の対象者から入力された、複数の知識項目における対象者自身の貢献度に関する情報を第3の意識データとして蓄積させ、選択された知識項目において、前記貢献度に関するデータを入力した対象者を特定させることを特徴とする。

【0057】また、次の知識経営診断プログラムを記憶した記憶媒体によって、知識経営を診断する処理をする知識経営診断プログラムを所持、搬送、コンピュータへインストールできる。詳細には、複数の対象者に関するデータを集めて知識経営を診断するときに該診断結果を、通信回線を介して提示する知識経営診断プログラムを記憶した記憶媒体であって、経験的な知識に関する項目と、経験的な知識に関する項目と、定型的な知識に関する項目とを少なくとも含む複数の知識項目を表示するための表示情報を出力させ、複数の対象者から入力された、それらの対象者が所属している組織にとって現在重要である知識項目を第1の意識データとして蓄積させ、各知識項目毎の入力数を算出させると共に、前記複数の対象者から入力された、これらの対象者が所属している組織にとって将来重要となる知識項目を第2の意識データとして蓄積させ、各知識項目毎の入力数を算出させ、複数の対象者から入力された、複数の知識項目における対象者自身の貢献度に関する情報を第3の意識データとして蓄積させ、選択された知識項目において、前記貢献度に関するデータを入力した対象者を特定させることを特徴とする。

【0058】第4の発明の知識経営診断方法では、経験的な知識に関する項目と、定型的な知識に関する項目とを少なくとも含む複数の知識項目を表示し、複数の対象者から入力された、それらの対象者が所属している組織にとって現在重要である知識項目を第1の意識データとして蓄積し、各知識項目毎の入力数を算出すると共に、前記複数の対象者から入力された、これらの対象者が所属している組織にとって将来重要となる知識項目を第2の意識データとして蓄積し、各知識項目毎の入力数を算出し、前記第1の意識データに関する算出結果と前記第2の意識データに関する算出結果を比較し、その比較結果に基づいて、前記組織を複数の類型に分類し、その分類結果を出力することを特徴とする。

【0059】また、第4の発明の知識経営診断方法は、次の知識経営診断装置によって容易に実現可能である。詳細には、複数の対象者に関するデータを集めて知識経営を診断するときに該診断結果を、通信回線を介して提示する知識経営診断装置において、経験的な知識に関する項目と、定型的な知識に関する項目とを少なくとも含む複数の知識項目を表示するための表示情報を出力する出力手段と、複数の対象者から入力された、それらの対象者が所属している組織にとって現在重要である知識項目を第1の意識データとして蓄積し、各知識項目毎の入力数を算出すると共に、前記複数の対象者から入力された、これらの対象者が所属している組織にとって将来重要となる知識項目を第2の意識データとして蓄積し、各知識項目毎の入力数を算出する算出手段と、前記第1の意識データに関する算出結果と前記第2の意識データに関する算出結果を比較し、その比較結果に基づいて、前記組織を複数の類型に分類し、その分類結果を出力する分類結果出力手段と、を備えたことを特徴とする。

【0060】また、次の知識経営診断プログラムによって、知識経営を診断する処理を容易に実現できる。詳細には、複数の対象者に関するデータを集めて知識経営を診断するときに該診断結果を、通信回線を介して提示する知識経営診断プログラムであって、経験的な知識に関する項目と、定型的な知識に関する項目とを少なくとも含む複数の知識項目を表示するための表示情報を出力させ、複数の対象者から入力された、それらの対象者が所属している組織にとって現在重要である知識項目を第1の意識データとして蓄積させ、各知識項目毎の入力数を算出させると共に、前記複数の対象者から入力された、これらの対象者が所属している組織にとって将来重要となる知識項目を第2の意識データとして蓄積させ、各知識項目毎の入力数を算出させ、前記第1の意識データに関する算出結果と前記第2の意識データに関する算出結果を比較させ、その比較結果に基づいて、前記組織を複数の類型に分類させ、その分類結果を出力させることを特徴とする。

【0061】また、次の知識経営診断プログラムを記憶した記憶媒体によって、知識経営を診断する処理をする知識経営診断プログラムを所持、搬送、コンピュータハインストールできる。詳細には、複数の対象者に関するデータを集めて知識経営を診断するときに該診断結果を、通信回線を介して提示する知識経営診断プログラムを記憶した記憶媒体であって、経験的な知識に関する項目と、定型的な知識に関する項目とを少なくとも含む複数の知識項目を表示するための表示情報を出力させ、複数の対象者から入力された、それらの対象者が所属している組織にとって現在重要である知識項目を第1の意識データとして蓄積させ、各知識項目毎の入力数を算出させると共に、前記複数の対象者から入力された、これらの対象者が所属している組織にとって将来重要となる知

識項目を第2の意識データとして蓄積させ、各知識項目毎の入力数を算出させ、前記第1の意識データに関する算出結果と前記第2の意識データに関する算出結果を比較させ、その比較結果に基づいて、前記組織を複数の類型に分類させ、その分類結果を出力させることを特徴とする。

【0062】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して本発明の実施の形態の一例を詳細に説明する。本実施の形態では、インターネット等の通信回線を介して従業員等の組織の対象者について、知識資産を集計・分析し、その知識資産による創造や活用の支援をする場合に、本発明を適用したものである。本実施の形態では、特に、企業経営のためのコミュニティを自動生成するシステムに適用が好適であり、知識経営を進めるための知識資産・知識ワークに関する調査を行って、その結果や各調査間の相関を求めることで知識経営を支援する、自動コミュニティ生成システムに好適である。

【0063】〔構成〕図2には、本発明が適用可能なネットワークシステムの概略構成が示されている。図2に示したように、ネットワークシステム80は、各々同一または異なる対象者が操作する組織側の複数のコンピュータ82、及び同一または異なる処理側の複数のコンピュータ84が、それぞれモデム、ルータ、TA（ターミナル・アダプタ：Terminal Adapter）等の接続装置86を介して、ネットワーク（例えば、インターネット）88に接続されて構成されている。複数のコンピュータ82、84は、ネットワーク88を介して、相互通信により情報授受が可能である。

【0064】また、以下の説明では、図2に示したように、複数のコンピュータ82のうち少なくとも1つのコンピュータ82が知識資産を調査したり分析したりするコンピュータ（以下、「サーバ・コンピュータ」という）であり、また、コンピュータ84は、対象者の知識資産を調査するときのアンケートなどに応答したり知識資産による創造や活用の支援のためのデータを受け取ったりするユーザ側のコンピュータ（以下、「ユーザ・コンピュータ」という）85として機能する構成を一例として説明する。サーバ・コンピュータ82として機能するコンピュータのうち、対象者の知識資産を各種の見方で表した意識データを蓄積するサーバ・コンピュータ82は蓄積サーバ83として機能し、知識資産の調査結果を分析するサーバ・コンピュータ82は分析サーバ81として機能する。これらのコンピュータは、1台のサーバで機能させてもよく、複数台で分散処理してもよい。

【0065】なお、ユーザ・コンピュータ85が本発明の提示側端末に相当する。また、ネットワーク88は本発明の通信回線に相当する。

【0066】本実施の形態では、ネットワークとしてインターネットを適用した場合を説明する。この場合、少

なくとも1つのコンピュータは、WWW (World Wide Web) サーバとして機能させることができ、また他のマシンはWWWクライアントとして機能させることもできる。

【0067】詳細には、各ユーザ・コンピュータ85には、WWWブラウザがインストールされており、このWWWブラウザを起動することにより、ネットワーク88を介してサーバ・コンピュータ82 (分析サーバ81, 蓄積サーバ83) に任意にアクセス可能となる。このとき、アクセス位置 (アクセス先のサーバ・コンピュータ82の位置、及びサーバ・コンピュータ82内の情報の位置で構成されるデータ) は、URL (Uniform Resource Locator) で指定される。

【0068】サーバ・コンピュータ82は、ユーザ・コンピュータ85からアクセス要求があった場合、URLで指定された位置にあるデータを、ネットワーク88を介して、アクセス元のユーザ・コンピュータ85へ送信する。このとき、データは、一般に、HTTP (Hyper Text Transfer Protocol) に従って転送される。

【0069】なお、ユーザ・コンピュータ85の識別には、IP (Internet Protocol) アドレスが用いられるが、URL等の他の位置指定のコードを用いてもよい。また、ユーザ・コンピュータ85を操作するユーザの識別には、ユーザ自信の入力や、予め定められているコード等のユーザIDを用いることができる。

【0070】上記コンピュータには、当該コンピュータで指示入力をするために、各々キーボード、マウス等の入力装置が設けられており、コンピュータによる処理結果等を表示するためにディスプレイが設けられている。なお、コンピュータは、汎用的かつ一般的なハードウェア構成であるため、詳細な説明を省略する。

【0071】図3には、上記構成によるコンピュータによる情報の授受について、機能的なブロック図で示した。本システムは、サーバ・コンピュータ82 (分析サーバ81, 蓄積サーバ83)、及びユーザ・コンピュータ85に分類して構成することができる。なお、これらのコンピュータは、1台のコンピュータに限定されるものではなく、複数台のコンピュータがネットワークで接続されてシステムとして機能するように構成してもよい。

【0072】サーバ・コンピュータ82である蓄積サーバ83は、アプリケーション部12、アンケート基本情報記憶部14、及びデータベース部16で構成されている。これらの各部は、コンピュータで構成し、情報授受可能に接続してもよい。アプリケーション部12は、主に、他のコンピュータとの情報授受やアンケート基本情報記憶部14からアンケート情報を取り出してユーザ・コンピュータ85へ送信したり結果を受信したりする処理を含む各種処理を実施する機能部である。アンケート基本情報記憶部14は、知識資産を把握するための意識

データを集計したり分析したりするときに必要な予め設定されたデータ (アンケート用の問い) を記憶した記憶部である。データベース部16は、対象者により返答されたアンケートの結果を意識データとして蓄積する機能部である。

【0073】また、分析サーバ81は、アプリケーション部22、分析プログラム記憶部24、及びデータベース部26で構成されている。これらの各部は、コンピュータで構成し、情報授受可能に接続してもよい。アプリケーション部22は、主に、他のコンピュータとの情報授受や分析プログラム記憶部24に格納されたプログラムに従ってアンケートを分析する処理を含む各種処理を実施する機能部である。分析プログラム記憶部24は、知識資産を分析する分析プログラムを記憶した記憶部である。データベース部26は、知識資産を調査したり評価したりするときの評価基準を予め蓄積した機能部である。

【0074】〔概要〕本実施の形態では、上記構成を基にして、知識を創造、または活用するという観点から、企業経営を評価・診断し、それを高めるためのコミュニティを自動生成することを可能にするためのものである。まず、一人一人の従業員の意識や働き方等に関するアンケートを集めて、そのアンケートに基づき、組織の経営状況を診断し、改善・改革の方向性を示すと共に、特定の知識に興味を持つ人々やワークスタイルの近い人々のコミュニティを自動生成する。これによって、組織の知的生産性や創造性を高めることが可能となる。

【0075】また、一人一人の従業員の意識や働き方等に関するアンケートを集めて、そのアンケートに基づき、組織の経営状況などを診断することを可能とするが、そのときには、各種分析を行い、現状の把握、および改善・改革の方向性を示すと共に、特定の知識に興味を持つ人々やワークスタイルの近い人々の抽出や特定を可能とする。これによって、組織の知的生産性や創造性を高めることが可能となるデータ (分析結果) を提供することも可能となる。

【0076】図1には、各種情報の流通についての概念図を示した。本実施の形態では、知識資産を、少なくとも3つに分類している。第1として個々の働き方の特性 (時間・場所的資産) 30、第2として組織における働き方の特性 (ネットワーク的資産) 32、第3として現在と将来の収益の源泉を表す特性 (収益的資産) 36である。これらに、知識経営の特性 (知識経営資産) 34を加えることも可能である。個々の働き方の特性30は、組織の従業員などの対象者がどのように時間を活用しているかを表す意識データ群であり、組織における働き方の特性32は、対象者がどのようにコミュニケーションを図っているかを表す意識データ群である。現在と将来の収益の源泉を表す特性36は、現在及び将来の組織としての収益の源泉であり、対象者が現在有する知識

または将来有することが予測される知識を表す意識データ群である。さらに、知識経営の特性34は、組織または対象者が有する知識経営を遂行する上で必要となる項目をどの程度兼ね備えているかを表す意識データ群である。なお、これらの意識データは、予めアンケートによって蓄積されているものとする。

【0077】本実施の形態では、知識資産を、上述のように分類しているが、個々の働き方の特性（時間・場所的資産）30及び組織における働き方の特性（ネットワーク的資産）32は、知識資産の観点として対象者の動きの形態を表しているため、行動に関する特徴資産と捉えることができる。

【0078】また、上記では、個々の働き方の特性30、組織における働き方の特性32、および知識経営の特性34、特性36を異なる分類としているが、本実施の形態では、独立した分類に限定されるものではない。例えば、個々の働き方の特性30、および組織における働き方の特性32を混合して考え、1つまたは複数の特性に分類してもよい。

【0079】相関分析38は、個々の働き方の特性（時間・場所的資産）30、組織における働き方の特性（ネットワーク的資産）32、現在と将来の収益の源泉を表す特性（収益的資産）36、及び知識経営の特性（知識経営資産）34の少なくとも2つに基づいてこれらの相関分析を行うためのものであり、評価／生成40は、相関分析38による分析結果を評価したり分析結果からコミュニティを生成するためのものである。

【0080】一例を挙げると、まず、(a)組織にとって重要な知識資産、対象者自身の貢献する知識資産を調査する。これは、収益の源泉を表す特性（収益的資産）36を調査することに相当する。次に、(b)対象者自身のナレッジ・ワークの進め方の特徴を調査する（具体的には、個々人の時間の使い方、働く場所、コミュニケーション等の働き方の特性）。これは、個々の働き方の特性（時間・場所的資産）30、及び組織における働き方の特性（ネットワーク的資産）32を調査することに相当する。これらの調査は、蓄積サーバ83に蓄積された意識データから導出することができる。また、アンケートが予め調査のための質問であることが好ましい。これにより、ユーザ側から得られる意識データが、そのまま調査結果となる。なお、これらを意識データを蓄積サーバ83に蓄積することができる。また、調査結果として蓄積サーバ83に蓄積してもよい。

【0081】本実施の形態では、上記(a)の知識資産の調査は、より具体的には、各企業の価値の源泉が、現在は何の知識資産から生まれているのかを調査している。この調査は、知識資産の把握および分類をより具体的な知識資産モデル（図6）として考え、その知識資産モデルに対してアンケートを収集している。このデータ収集にあたっては、各社員（組織員）に、10枚のコイ

ンを与え、各社員に10枚のコインを知識資産モデル（図6）に配置させることによって現在についての状況を得る。そして、各自が考えている重要な知識資産が、将来どこに移っていくのか、それをさらに配置してもらう。それにより、現在から将来で重要な知識資産がどのように遷移し、つまり将来に向けて、どのような知識資産を構築していかなければならないと考えているか、その共通認識を調査することができる。

【0082】図6に示すように、知識資産モデルとして本実施の形態で採用したフレームワークとしては、企業にとって重要な価値の源泉である知識資産を3×4の12個のセル52A～52Lに層別した知識資産モデル50を用いる。縦軸に、市場や顧客に関する知識、組織や個人の保有する知識、そして商品・サービスに埋め込まれた知識といった、3つの分類をとる。横軸は、営業や製造のノウハウなどの経験知、ブランドやコンセプトなどのイメージ、文書やデータベースなどの定型的知識、そして教育プログラムや顧客リレーションといった仕組みにより、4つに分類する。知識資産モデルとして層別することは詳細な分類に有効な概念であり、特に、12個のセルに層別する概念は広く知られた技術である（紺野登著、「知識資産の経営」日本経済新聞社刊）。

【0083】図6の知識資産モデル50では、市場や顧客に関する知識に対して、営業や製造のノウハウなどの経験的な知識資産の層をセル52Aとして、顧客に対する理解度またマーケティング力を表す分類としている。また、市場や顧客に関する知識に対して、ブランドやコンセプトなどのイメージの知識資産の層をセル52Bとして、顧客ロイヤリティまたブランド認知率を表す分類としている。また、市場や顧客に関する知識に対して、文書やデータベースなどの定型的知識資産の層をセル52Cとして、顧客ベースまた顧客カルテを表す分類としている。また、市場や顧客に関する知識に対して、教育プログラムや顧客リレーションといった仕組みの知識資産の層をセル52Dとして、顧客維持の仕組みまた提携・流通ネットワークを表す分類としている。

【0084】同様に、組織や個人の保有する知識に対する経験的な知識資産の層をセル52Eとして、社員の能力・専門性また知識重視の組織文化を表す分類としている。また、組織や個人の保有する知識に対するイメージの知識資産の層をセル52Fとして、企画開発力また写真一人一人の感度を表す分類としている。また、組織や個人の保有する知識に対する定型的知識資産の層をセル52Gとして、ドキュメント資産また電子情報を表す分類としている。また、組織や個人の保有する知識に対する仕組みの知識資産の層をセル52Hとして、社内教育プログラムまた社内コミュニケーションを表す分類としている。

【0085】そして、商品・サービスに埋め込まれた知識に対する経験的な知識資産の層をセル52Iとして、



製品・サービスの知識また製造などの熟練的知識を表す分類としている。また、商品・サービスに埋め込まれた知識に対するイメージの知識資産の層をセル52Jとして、製品コンセプトまた製品デザインを表す分類としている。また、商品・サービスに埋め込まれた知識に対する定型的知識資産の層をセル52Kとして、特許・著作権また技術ライセンスを表す分類としている。また、商品・サービスに埋め込まれた知識に対する仕組みの知識資産の層をセル52Lとして、製品情報提供の仕組みまた製品関連のセミナを表す分類としている。

【0086】図6の知識資産モデル50で表現した12個のセル52A～52Lは、知識資産を分類した知識項目と考えることができ、この知識項目は次の項目に大別できる。図6の例で説明した横軸の分類である、経験的な知識資産の層（例えば、セル52Aを含む）、イメージの知識資産の層（例えば、セル52Bを含む）、定型的知識資産の層（例えば、セル52Cを含む）、及び仕組みの知識資産の層（例えば、セル52Dを含む）を、知識項目と分類できる。

【0087】知識資産モデル50で表現した経験的な知識資産の層に対しては経験的な知識に関する項目をアンケートとして生成でき、そして定型的知識資産の層に対しては定型的な知識に関する項目をアンケートとして生成でき、社員などの対象者に関する知識資産の主要な知識項目をアンケートとして生成できる。

【0088】従って、社員などの対象者が、現在の状況または将来予測される状況と考えている知識項目に対してコインを付与することで、現在状況または将来予測状況を調査することができる。

【0089】例えば、社員などの複数の対象者により付与されたコインにより、それらを入力として、対象者が所属している組織にとって現在重要である知識項目を第1の意識データ、及びこれらの対象者が所属している組織にとって将来重要となる知識項目を第2の意識データの少なくとも一方の意識データを、知識項目毎に算出することができる。

【0090】なお、その知識項目の対象となる対象者は、社員に限定されるものではない。すなわち、組織の管理者や経営者などの経営層に属する対象者が含まれる。

【0091】蓄積サーバ83に蓄積された意識データ例えば上記2つの調査結果に基づいて、分析を行い、次の2つ(1)、(2)の分析結果を出力する。まず、(1)上記2つの調査結果の間の相関をとることにより、次の2つ(1a、1b)のデータを得る。(1a)企業独自の競争力(コア・コンピタンス)を高めるために、どんな知識資産を創り出していかなければならないかを把握するためのデータを得る。また、従業員間、マネジメントー従業員間、マネジメント間における、ズレを導出しそのデータを得る。これによりズレを確認できる。(1b)

競争力(コア・コンピタンス)を高めるために、どんな知識ワークを支援すべきかを把握するためのデータを得る。

【0092】(2)上記2つの調査結果に基づいて、特定の知識に興味を持つ人々やワークスタイルの近い人々のコミュニティを自動生成する。さらに、対象者が自らの属するコミュニティを検索し、そのコミュニティから成るレポジトリ/ML(メーリングリスト)/Forum(フォーラム)等を自動構築する。

【0093】また、図6の知識資産モデル50を例にすると、経験的な知識に関する項目と、定型的な知識に関する項目とを少なくとも含む複数の知識項目を、選択入力可能に複数の対象者へ提示(表示)する。

【0094】経験的な知識に関する項目と、定型的な知識に関する項目とを少なくとも含む複数の知識項目から、複数の対象者により入力された、それらの対象者が所属している組織にとって現在重要である知識項目を第1の意識データとして蓄積し、各知識項目毎の入力数を算出する。これと共に、複数の対象者から入力された、これらの対象者が所属している組織にとって将来重要となる知識項目を第2の意識データとして蓄積し、各知識項目毎の入力数を算出する。そして、第1の意識データに関する算出結果と第2の意識データに関する算出結果とを比較することで分析し、その比較結果を各知識項目と対応づけて表示することを分析結果とする。これにより、現在及び将来の状況を把握したり推定したりすることが容易となる。

【0095】この場合、経営者層に属する対象者に、その対象者が所属している組織にとって現在重要である知識項目と将来重要となる知識項目を入力させ、この入力結果を上記社員などの比較結果と合わせて表示することもできる。

【0096】〔実施形態の作用〕次に、本実施形態の作用を説明する。なお、本実施の形態では、サーバ・コンピュータ82がWWW(World Wide Web)サーバとして機能し、ユーザ・コンピュータ85がWWWクライアントとして機能する場合を説明する。この場合、ユーザ・コンピュータ85には、ネットワークアクセス可能なプログラム(所謂WWWブラウザ)がインストールされており、このWWWブラウザを起動することにより、ネットワーク88を介してサーバ・コンピュータ82にアクセス可能となる。アクセス位置(アクセス先のサーバ・コンピュータ82の位置、及びサーバ・コンピュータ82内の情報の位置で構成されるデータ)は、所謂URL(Uniform Resource Locator)で指定される。

【0097】＜蓄積サーバ(1)＞まず、ユーザ・コンピュータ85からサーバ・コンピュータ82に対して、本サイト(知識資産活用支援サイト)にアクセス要求がなされた場合、サーバ・コンピュータ82の蓄積サーバ83では、図4に示す処理ルーチンが実行される。具体



的には、図4のステップ100では、アクセス要求がユーザ・コンピュータ85か他のサーバ・コンピュータ82かを判断する。この場合、ステップ100で肯定され、ステップ102において、初期設定として、ユーザ・コンピュータ85に表示されるべき画面のフォーマット情報を生成すると共に、データを生成し、ネットワーク88を介してユーザ・コンピュータ85へ送信する。これにより、ユーザ・コンピュータ85には知識資産を活用するために必要なデータを収集するためのアンケートが提示される。

【0098】対象者は、ユーザ・コンピュータ85に提示されたアンケートを参照しながら、該当する項目を記入したり、選択したりして、アンケートに対する回答を入力する。この入力終了すると、入力されたデータがユーザ・コンピュータ85から蓄積サーバ83に対して送信され、蓄積サーバ83では、図4のステップ106において応答の判断が肯定され、ステップ108へ進む。

【0099】なお、図6に示した知識資産モデル50による回答を得るために、その項目にコインが載置される。そのコインの数がデータとして送信される。

【0100】ステップ108では、対象者が入力したデータを読み取ると共に、意識データとしてデータベースに蓄積して、本ルーチンを終了する。この蓄積時は、対象者が入力したデータとそのアンケート項目が対応されている。

【0101】＜アンケート＞本実施の形態では、知識資産を活用するために必要なデータを収集するためのアンケートとしてのフォーマット情報は、対象者に対する属性情報を含んでいる。この属性情報は、対象者の、年齢、性別、組織内の立場（役職や職責）、管理している他の対象者の人数、業務内容、業務の経験時間例えば年数などの項目から構成されている。

【0102】また、このフォーマット情報は、対象者が回答し易いように、組織と知識、個と知識、場と知識との視点に分類した回答情報を含んでいる。まず、組織と知識との視点に対する回答を得るための項目として、組織の優位性、重要な知識資産、知識に対する組織的取り組みなどの項目を採用している。また、個と知識との視点に対する回答を得るための項目として、知識創造・活用プロセス、知識資産への貢献、処理（作業や業務）の場所と時間活用などの項目を採用している。また、場と知識との視点に対する回答を得るための項目として、知識創造・活用の場、知識をやりとりするときのコミュニティなどの項目を採用している。次に一例を説明する。

【0103】組織と知識との視点に対する回答を得るための項目である、組織の優位性は、組織が有していることが予測される能力を多数の事項に分類し、現在と将来にわたる見解を度合いを以て回答可能にしている。例え

ば、組織がメーカである場合には、開発力、技術力、企画力、営業力などに対する現在と将来にわたる見解を度合いを以て回答可能なように質問形式の事項で構成できる。また、重要な知識資産は、まず知識資産をカテゴリ分類し、さらに性質に分類したとき、どこにどの程度該当するかを現在と将来にわたる見解を収益性を以て回答可能なように質問形式の事項で構成できる。さらに、知識に対する組織的取り組みの項目は、組織が知識に対して有していることが予測される多数の事項についての見解を度合いを以て回答可能にしている。なお、これ以外に、競争力の維持や拡大に対する見解や意見を求めることもできる。

【0104】個と知識との視点に対する回答を得るための項目である、知識創造・活用のプロセス、知識資産、処理（作業や業務）の場所と時間活用は、日常の業務について、知的活用に費やされる場所、時間、重要度を多数の事項に分類し、見解を度合いを以て回答可能なように質問形式の事項で構成できる。

【0105】場と知識との視点に対する回答を得るための項目である、知識創造・活用の場の項目は、対象者の作業を行う場所や取り組み方について多数の事項に分類し、その見解を度合いや感想を以て回答可能なように質問形式の事項で構成できる。また、知の飛び交うコミュニティの項目は、対象者が有していることが予測される対象者以外の人物との間の情報授受に関する共有や共同作業を多数の事項に分類し、重要度の見解を度合いを以て回答可能なように質問形式の事項で構成できる。

【0106】なお、図6に示した知識資産モデル50による回答、すなわち現在と将来の収益の源泉を表す特性36を得るための項目は、上記のセルに該当する項目をあらかじめ定めて、その項目ごとにコインの数を入力可能に構成すればよい。

【0107】以上のフォーマット情報は蓄積サーバ83のアンケート基本情報記憶部14に格納されており、対象者からの回答はデータベース部16に蓄積される。

【0108】＜蓄積サーバ（2）＞一方、後述するように分析サーバ81から蓄積サーバ83に対して、アクセス要求がなされた場合、蓄積サーバ83では、図4のステップ100で否定され、ステップ110へ進み、要求されたデータを特定する。この場合、分析サーバ81からの要求であるため、対象者の意識データの要求であることを特定し、次のステップ112で知識資産を活用するために必要な意識データを分析サーバ81へ出力した後に、本ルーチンを終了する。

【0109】＜分析サーバ＞次に、分析サーバ81の作動を説明する。分析サーバ81では、図5に示す処理ルーチンが実行される。図5のステップ120では、初期設定として、知識資産を活用するために、意識データをどのように分析するかを表す分析種類を選択し、次のステップ122で、上記ステップ120で設定された分

析種類に対して、意識データによりどのような調査をするのかを特定し、次のステップ124において調査及び分析時の基準を特定する。このようにして分析条件が定まった後、次のステップ126において、蓄積サーバ83に対して意識データを出力するようにデータ要求を行う。次のステップ128では、蓄積サーバ83から応答すなわち意識データが出力されたか否かを判断し、肯定されるまで、ステップ126でデータ要求する。

【0110】ステップ128において肯定判断されると、ステップ130へ進み、蓄積サーバ83から出力された意識データを受け取ると共に、調査を行う。次のステップ132では、上記ステップ130の調査結果を基にして相関分析を行い、次のステップ134において上記ステップ132の分析結果を提示する。この分析結果の提示は、予め定めたユーザ・コンピュータ85へ向けて通信回線88を介して送信してもよく、データとして取り出し可能に格納してもよい。

【0111】次のステップ136では、分析結果に基づいてコミュニティを生成するか否かを判断する。この判断基準は、予めコミュニティを自動生成するか否かを設定しておくことにより、容易に判定することができる。また、自動生成するコミュニティには、レボジトリ、ML（メーリングリスト）、Forum（フォーラム）等がある。ステップ136で否定されると、そのまま本ルーチンを終了し、肯定されると、ステップ138においてコミュニティを自動生成した後本ルーチンを終了する。

【0112】＜分析サーバの具体的な処理例＞次に、分析サーバ81の具体的な処理を説明する。分析サーバの処理は、調査と分析とに大別される。

【0113】（調査）調査は、上述のフォーマット情報により対象者が回答した、組織と知識、個と知識、場と知識との視点に分類した回答情報を用いてなされる。すなわち、回答情報の各事項のデータから以下の調査に対応するものを予め設定しておき、それを抽出することで、調査に用いるデータとする。

【0114】本実施の形態では、組織の知識戦略調査（調査A）と、組織の対象者のワークスタイル調査（調査B）との2つの分類の調査を採用している。

【0115】（組織の知識戦略調査）組織の知識戦略調査には、知識資産調査（調査A1）と知識経営度調査（調査A2）とがある。

【0116】知識資産調査（調査A1）

この調査は、組織にとって重要な知識資産すなわち知的資本について調査することである。言い換えれば、図1に示した、現在と将来の収益の源泉を表す特性（収益的資産）36を調査することである。この調査の結果、組織の対象者を、次の3つの知識領域を考慮し、現在と将来の競争優位性を視点として分類することで組織を分割できる。

【0117】（1）組織にとって、現在重要な知識領域

（2）組織にとって、将来重要になる知識領域

（3）個人として、その構築に貢献している知識領域  
すなわち、同じ組織の対象者（構成員）について、上記の知識領域（1）、（2）の情報を集積することにより、（知識の集中度）×（変化度）の2軸により、組織を4分割できる。すなわち、図1のイメージ46に示したように、知識の集中度の高度低度について、どちらでもないデータを分割軸とすると共に、変化度の高度低度について、どちらでもないデータを分割軸とすることにより、組織を4分割できる（図1のイメージ46内に（1）、（2）、（3）、（4）として記載している）。また、知識領域（3）の貢献領域が知識領域（1）に寄っているか、知識領域（2）に寄っているかを判別することで、4分類された組織をさらに現状強化型、変革型に分類することができる。すなわち、図1のイメージ48に示したように、知識の貢献度の高度低度を、イメージ46に付与することで組織をさらに現状強化型、変革型に分類することができる。

【0118】この調査A1では、上述の知識資産モデル50を採用できる。

【0119】図7には、企業の調査結果の一例を示した。各セル内には、調査結果として得られた現在と将来の知識資産の重要度認識を示している。すなわち、各セル内に、現在の重要度認識を数値として重要度認識値54Nを示し、将来の重要度認識を数値として重要度認識値54Fを示している。また、現在から将来への知識資産の重要度認識の傾向を矢印56で示した。

【0120】また、セル内には、ボール58が示されているものもある。このボール58は、その企業のCKO（知識担当役員：ナレッジマネジメントに責任を持つ経営トップ）がコインを置いたセルそのものである。ボール58は、CKOが想定しているセルについて現在および将来のいずれかに載置される。図7の例では、CKOは、現在の優位性は、顧客に関する経験的知識、個人や組織が保有する経験的知識、コンセプト構築力などだと考えていることを把握できる。そして将来は、それらの重要性が下がり、データベースやドキュメント、顧客維持の仕組みなど、よりシステムティックなものへと知識資産の比重を変えていかなければならないと考えていることを把握できる。これとほぼ同様の共通認識が、この企業の社員の間にも見られる。これは、図7に示す矢印56の傾向からも明らかである。

【0121】この知識資産に関する調査結果により、各企業は、現在の強みの源泉となる知識資産に加え、将来に向けて新たに獲得しなければならない知識資産が何であるか、明確に知ることができる。

【0122】また、各社員が図6に示した12個のセル52A～52Lに対しそれぞれ、その知識資産の創造・構築にどれだけ貢献しているかの入力を求めることにより、各社員の知識資産への貢献度を把握することができ

る。

【0123】これにより、その企業にとって重要な知識資産に対し、誰が貢献しているのか、また将来獲得すべき知識資産の構築に、誰が貢献しているのか、それを明らかにすることができる。

【0124】これは、複数の対象者により入力された、上記蓄積した第1の意識データ、及び第2の意識データとの各々の知識項目毎の入力数を算出し、さらに複数の対象者から入力された、複数の知識項目における対象者自身の貢献度に関する情報を第3の意識データとして蓄積し、選択された知識項目において、前記貢献度に関するデータを入力した対象者を特定することに相当する。

【0125】この場合、特定された対象者について予め記憶されている、仕事に対する自律性、仕事における関係者とのインタラクション（依存性や関連性）、仕事を処理する場所などのワークスタイルと、予め記憶されている理想とされるワークスタイルとを比較して、その差分を提示することができる。

【0126】次に、将来獲得すべき知識資産の構築に貢献しているワーカーの知識創造をいかにサポートすべきか、それぞれのワーカーのワークスタイルから診断する。この診断は、所定の診断プログラムを用いて実行する。本実施の形態では、DEGW社のタイムユーティリゼーション・サーベイ（TUS）を用いている。このTUSでは、ナレッジ・ワーカーを4つのワークスタイルに分類することができる。次の図8にその結果を示す。

【0127】図8では、図1のイメージ42に対応するものとして、ワークスタイルに関する「意識」の分布を想定し、自立性対対話性との関係から定まるものとしている。すなわち、イメージ60で示したように、対話性を縦軸にし、自立性を横軸にして、その分布をワークスタイルに関する「意識」の分布としている。また、図1のイメージ44に対応するものとして、実際の「行動」を想定し、働く場所と、業務の形態との関係から定まるものとしている。すなわち、イメージ62で示したように、オフィス内外の場所で働く割合を縦軸とし、ルーチン業務と創造業務の割合を横軸にして、その分布を実際の「行動」に関する分布としている。

【0128】これらの「意識」の分布、および「行動」の分布について、いずれの選択枝に該当しないデータを分割軸とすることにより、各々の分類を4分割できる。これらのイメージ60およびイメージ62の該当する分類から、イメージ64に示したように、ナレッジ・ワークスタイルの4つの分類のいずれに該当するかを求めることができる。ナレッジ・ワークスタイルの4つの分類とは、ノマド型ワーカー、エージェント型ワーカー、キーパー型ワーカー、そしてアナリスト型ワーカーの分類である。

【0129】すなわち、この分類は、オフィス内・外でそれぞれどの程度働いているか、また、定常的業務と集

中を必要とする業務の時間配分はどうかという「行動指標」に加え、自律度と対話度で特定された「意識指標」を用いたことに相当する。これら2つを掛け合わせることで、「意識」も「行動」も創造的かつインタラクティブなワークスタイルを実践している人をノマド型ワーカーと呼ぶ。

【0130】ノマド型ワーカーは、自主性・創造性が高く、かつ、歩き回りを頻繁にし、他者との対話が多いワークスタイルを有するワーカーであり、全1186サンプルを調査した結果を示す図8の例では、全体の29.8%のワーカーが分布している。また、アナリスト型ワーカーは、自律性は高いが、他人とのインタラクションが少ないワークスタイルであり、全体の33.8%のワーカーが分布している。エージェント型ワーカーは、自立性は低いがインタラクションが高いワークスタイルであり、全体の19.8%のワーカーが分布している。一方、キーパー型ワーカーは、自立性もインタラクションも低いワークスタイルであり、全体の16.6%のワーカーが分布している。

【0131】直接的には、重要な知識資産構築に貢献しているワーカーが、ノマド型ワーカーであれば、そのワークスタイルに合ったサポートを、具体的にはモバイルワーク環境を整える、あるいは情報提供を行なうためのコールセンターを用意するなどがある。アナリスト型ワーカーには、メーリングリストやノウハウ・データベースの充実により、デスクに居ながらにして必要な知識が獲得できるよう、環境を整えるなどする。

【0132】また、調査を行なった企業の各部門で、これらをタイプのワーカーがどの程度分布しているかにより、部門のワークスタイル特徴を見ることができる。間接的には、重要な知識資産構築への貢献でキーとなる部門、つまり重要な知識資産構築に貢献しているワーカーが多い部門に関し、その部門のワークスタイル特徴に合った環境構築をするなどがある。

【0133】知識経営度調査（調査A2）

この調査は、知識経営の要件が満たされていることを調査することである。言い換えれば、図1に示した知識経営の特性（知識経営資産）34を調査することである。これは、（1）ビジョン、（2）実践能力、（3）テクノロジー、（4）カルチャー、の各項目について、知識経営の要件を挙げ、それが満たされているか否かを調査する。この調査により、知識経営が成功か否かの度合いに応じた分類ができる。

【0134】より具体的には、図9に示すように、図1に示した知識経営の特性34をビジョン66A、カルチャー66B、実践能力66C、技術（技術とメソッドからなる）66Dの4つの項目に対して、複数（本実施の形態では、10個）の質問を行い、その回答から知識経営度を求める。ビジョン66Aは、経営トップの明快な戦略意図（経営戦略意図や事業戦略意図）を表し、カル

チャー66Bは、ナレッジ・コミュニティをはぐくむ学習環境を表している。実践能力66Cは、ナレッジ・ベスト・プラクティス（意識改革や組織改革）の実践能力を表し、技術66Dは、実践活動を支援するIT加えてメソッドを表している。

【0135】また、各項目に対する質問は、例えば、ビジョン66Aの「経営トップの明快な戦略意図」に関しては、「経営トップが知識の重要性について繰り返し語っているか」など、10の質問に対し、それぞれ「非常に当てはまる(5)」から「まったく当てはまらない(1)」の5段階で回答を得、それを合計してその項目のポイントを定める。この各項目のポイントを合計することにより、各部門の知識経営度を調査することができる。

【0136】（組織の対象者のワークスタイル調査）組織の対象者のワークスタイル調査には、時間・場所活用調査（調査B1）とヒューマン・ネットワーク調査（調査B2）とがある。

#### 【0137】時間・場所活用調査（調査B1）

この調査は、個々人のワークスタイルに関し、自律性、対話の度合い、どこで業務などの処理（以下、仕事という）をしているかなど、1日の仕事の仕方に関する調査をすることである。言い換えれば、図1に示した、個々の働き方の特性（時間・場所的資産）30を調査することである。この調査の結果、組織の対象者を、次の2つの仕事の仕方を考慮し、ワークスタイルを視点として分類することで組織を分割できる。

（1）どのくらい自立的に仕事を遂行しているか

（2）どのくらい動き回って仕事を遂行しているか

すなわち、同じ組織の対象者（構成員）について、上記の仕事の仕方（1）、（2）の情報を集積することにより、（対話性）×（自律性）の2軸により、組織を4分割できる。すなわち、図1のイメージ42に示したように、対象者の対話性の高低について、どちらでもないデータを分割軸とすると共に、自律性の高低について、どちらでもないデータを分割軸とすることにより、ワークスタイルを4分割できる（図1のイメージ42内に（1）、（2）、（3）、（4）として記載している）。

#### 【0138】ヒューマン・ネットワーク調査（調査B2）

この調査は、対象者の仕事の上での共有やつながりに関する調査をすることである。言い換えれば、図1に示した、組織における働き方の特性（ネットワーク的資産）32を調査することである。この調査B2には、次のコミュニティ調査がある。

#### 【0139】コミュニティ調査

必要な知識を獲得する際に、（1）ワークグループ、（2）プロジェクト・チーム、（3）コミュニティ・オブ・プラクティス（実際のネットワーク）、（4）インフォーマル・ネットワーク（非公式ネットワーク）、の

どのヒューマン・ネットワークに依存しているかを調査する。この調査の結果、組織の対象者のワークスタイルのヒューマン・ネットワークに関する依存性を把握できる。すなわち、図1のイメージ44に示したように、対象者の活動について、ワークグループ、プロジェクト・チーム、コミュニティ・オブ・プラクティス（実際のネットワーク）、インフォーマル・ネットワーク（非公式ネットワーク）の各々の依存度を結ぶことで、ヒューマン・ネットワークに関する依存性を把握できる。

【0140】（相関分析）分析は、上述の調査により得たデータを基にして相関分析によりなされる。本実施の形態では、2つの調査の結果の間の関係についての相関分析を行う。次に相関分析の一例を挙げる。

#### 【0141】知的資産調査とワークスタイル調査の間の分析（相関分析C1）

この相関分析C1では、対象者のワークスタイルを視点とした組織の柔軟性を分析することができ、知識資産戦略について現状強化型傾向または変革型傾向の組織であることの分析結果を得ることができる。例えば、知識資産戦略が変革型を目指しているのであれば、ワークスタイルは自律性・外部指向の双方が強くなければならない。

【0142】本実施の形態では、現在から将来への知識の遷移から、全1186個のサンプルデータ（意識データ）について相関分析をした結果、図10に示すように、4つのパターンにクラスリングすることができた。I型は、ブランドや商品コンセプトの強みから、組織力を発揮できる仕組みへと変革していかなければならない、という認識のクラスターである。II型は、営業や技術者の持つ経験知に依存していたものを、ITなどのシステムでそれを共有し、組織力へと環抱しようというクラスター。そしてIII型とIV型は、それまでの経験知やブランド／コンセプトの強みを維持し、さらには、もっと強くしていこうというクラスターである。このように、4つのクラスターに分けることができる。

【0143】このクラスターに分類することは、経験的な知識に関する項目と、定型的な知識に関する項目とを少なくとも含む複数の知識項目を表示し、複数の対象者から入力された、それらの対象者が所属している組織にとって現在重要である知識項目を第1の意識データとして蓄積し、各知識項目毎の入力数を算出すると共に、前記複数の対象者から入力された、これらの対象者が所属している組織にとって将来重要となる知識項目を第2の意識データとして蓄積し、各知識項目毎の入力数を算出し、前記第1の意識データに関する算出結果と前記第2の意識データに関する算出結果を比較し、その比較結果に基づいて、前記組織を複数の類型に分類することに相当する。

【0144】これら各パターンのうち、I型とII型を示したワーカーが、自律性の高いワーカーであるかどうか

か、その割合を見ることによって、その企業が実際に変革に向かっているかどうかをチェックすることができる。

#### 【0145】知識資産調査とヒューマン・ネットワーク調査の間の分析（相関分析C2）

この相関分析C2では、対象者のヒューマン・ネットワークを視点とした組織の柔軟性を分析することができ、知識資産戦略について現状強化型傾向または変革型傾向の組織であることの分析結果を得ることができる。例えば、知識資産戦略が変革型を目指しているのであれば、ヒューマン・ネットワークはコミュニティ・オブ・プラクティス依存度が強くなければならない。

【0146】本実施の形態の例では、図10に示す各パターンのうち、I型とII型を示したワーカーが、図1のイメージ44のコミュニティ・オブ・プラクティス依存度が強いかどうか、その割合を見ることによって、その企業が実際に変革に向かっているかどうかをチェックすることができる。なお、次に説明する相関分析C3乃至C6に関しても同様である。

#### 【0147】ワークスタイル調査とヒューマン・ネットワーク調査を総合して知識資産調査と比較による分析（相関分析C3）

この相関分析C3では、知識資産への貢献度を分析することができ、対象者のワークスタイルおよびヒューマン・ネットワークを視点として組織を分析することができる。例えば、ワークスタイルの自律性・外部指向と、コミュニティ（ヒューマン・ネットワーク）の依存度の間で、相関を調べる。自律性／外部指向、グループ指向／コミュニティ指向、で4分類できる。これら各対象者の分類の人が、それぞれ知識資産にどのくらい貢献しているかを把握することができる。

#### 【0148】知識資産調査と知識経営度調査の間の分析（相関分析C4）

この相関分析C4では、知識資産の推移を分析することができ、組織の知識経営を視点として組織を分析することができる。例えば、知識経営がうまくいっているかどうかを評価軸に、継続的に調査をする場合、知識資産経営度の向上と、知識資産のあるべき姿への移行が比例しているかをチェックすることで、知識資産経営度の継続性や向上性を分析結果として得ることができる。

#### 【0149】知識経営度調査とワークスタイル調査の間の分析（相関分析C5）

この相関分析C5では、知識資産の推移を分析することができ、組織の知識経営およびワークスタイルの視点から組織を分析することができる。例えば、知識経営がうまくいっているかどうかを評価的に、継続的に調査をする場合、知識資産経営度の向上と、ワークスタイルのあるべき姿への移行が比例しているかをチェックすることで、知識資産経営度の継続性や向上性を分析結果として得ることができる。

#### 【0150】知識経営度調査とヒューマン・ネットワーク調査の間の分析（相関分析C6）

この相関分析C6では、知識資産の推移を分析することができ、組織の知識経営およびヒューマン・ネットワークの視点から組織を分析することができる。例えば、知識経営がうまくいっているかどうかを評価軸に、継続的に調査をする場合、知識資産経営度の向上と、ヒューマン・ネットワークのあるべき姿への移行が比例しているかをチェックすることで、知識資産経営度の継続性や向上性を分析結果として得ることができる。

【0151】これらの分析によって、知識資産の将来と現在の差異や現在から将来への傾向を導出することができる。また、知識資産の将来と現在の差異から、将来高めるべき知識資産をいかに導くかを導出することもできる。

【0152】上記、組織の対象者から収集し蓄積したデータを用いて調査および分析をし、分析結果に基づいてコミュニティを生成する。このコミュニティは、分析結果による例えばワークスタイルが自律性・外部指向の双方が強い対象者を対象として生成する。これによって、組織内において、目的に応じたコミュニティを生成することができる。このコミュニティを生成するための基準は、予め定めた管理者などによる入力によって定めても良く、予め知識資産向上を目的とした入力値を定めてもよい。また、分析結果毎に、集中度が高い対象者からなるコミュニティを生成してもよい。

【0153】具体的には、コミュニティとは、ある観点で共通の特徴を持つワーカーの集合である。コミュニティの生成とは、ある観点で結ばれたワーカー群に対し、そのネットワークをワーカー自身に可視化することにより、コミュニケーションを関連にすることを意味する。さらに具体的には、（1）何により結びついたコミュニティなのか、（2）そのコミュニティのメンバーは誰なのか、というデータをそのメンバー全員に対し通知する。例えば、コミュニティのWebページを自動構成し、電子的に議論のできるフォーラムを提供する、あるいはコミュニティのための電子メールのメーリング・リストを提供する、などの方法がある。

【0154】なお、上記のコミュニティの生成は、定期的に自動的に行なわれてもよいし、管理者が指定して行なってもよい。また、これらの組み合わせであってもよい。

【0155】コミュニティの生成方法には、次のものがある

- （1）類似の知識資産に対する意識を持つワーカーを絞り込む
- （2）類似の知識資産構築に貢献するワーカーを絞り込む
- （3）類似のワークスタイルのワーカーを絞り込む
- （4）類似のヒューマン・ネットワーク傾向をもつワーカー



カーを絞り込む

また、上記(1)～(4)これらの組み合わせにより、さらに詳細に絞り込んでもよい。

【0156】さらに、上記生成方法に、次の項目によりさらに絞り込むことも可能である

- (5) どの部門に属しているか
- (6) どんな職種か
- (7) 部門の知識経営度の高さ
- (8) 部門の知識資産貢献度の高さ
- (9) 部門のワークスタイル傾向

すなわち、上記の生成方法(1)～(4)の少なくとも1つの生成方法により絞り込んだ結果を、上記項目

(5)～(9)によりさらに絞り込んで、コミュニティ・メンバーの絞り込んでもよい。

【0157】このようにして、組織の対象者から収集し蓄積したデータを用いて調査および分析をした結果を格納しておき、ユーザの指定した入力によって、コミュニティを検索したり、ユーザが有する知識資産類型とワークスタイル分類等に基づき、例えば近似する知識資産類型とワークスタイル分類等の他の対象者からなるコミュニティを検索したりしてもよい。この検索により発見したコミュニティのためのレポジトリとメーリングリストを生成し、参加者に通知することによって、組織内にあって有意的にコミュニティを構築することができる。

【0158】なお、上記では、組織の対象者から収集し蓄積したデータを用いて、調査および分析をした場合を説明したが、組織全体として将来重要となる知識資産を高めるために、どのように知識ワークを支援していくべきかを診断し、その方向性に応じてコミュニティを戦略的に構築するようにすることもできる。

【0159】また、上記では、組織の対象者から収集し蓄積したデータを用いて、調査および分析をした場合を説明したが、本発明は、1つの組織に対する調査および分析に限定されるものではない。例えば、複数の組織のそれぞれについて、調査および分析をして、組織間の相関関係を求めて比較してもよい。

【0160】なお、上記実施の形態では、組織として企業を対象としたが、本発明はこれに限定されるものではない。例えば、同様の作業や働きを行う集まりやグループを組織として扱うことが可能である。また、組織として、企業を採用した場合、同業の企業を複数調査した結果を母集団として扱い、調査対象となる企業について、その差異を求めることも可能となる。この場合、調査結果は、同業他社に対する自己の企業(部署やグループを含む)に傾向を導出することも容易となる。

【0161】また、本実施の形態では、組織を対象とした場合を説明したが、本発明はこれに限定されるものでもない。例えば、任意の地域に集う人々の集合体を組織として扱うこともできる。このように扱うことで、地域性を考慮することも可能となる。

【0162】さらに、企業や集まり(グループ)として、同業や同一の作業や働きを想定することに限定されない。例えば、異なる業種や異なる作業などを想定してもよい。これは、比較対象とする企業や集まりを定めることに限定されないためであり、自己の評価をどの対象にするかによって定めれば良いのである。

【0163】本実施の形態の処理ルーチン及び各種機能は、記録媒体としての磁気ディスクメディアに格納して流通させることが可能である。この場合、図示しない磁気ディスクメディアリードライト装置を備えることによって、処理ルーチン等は、図示しない磁気ディスクメディアリードライト装置を用いて磁気ディスクメディアに対して読み書き可能である。従って、予め磁気ディスクメディアに処理ルーチン等を記録しておき、図示しない磁気ディスクメディアリードライト装置を介して磁気ディスクメディアに記録された処理プログラムを実行してもよい。また、コンピュータにハードディスク装置等の大容量記憶装置(図示省略)を接続し、磁気ディスクメディアに記録された処理プログラムを大容量記憶装置(図示省略)へ格納(インストール)して実行するようにしてもよい。また、記録媒体としては、CD-ROM、MD、MO、DVD等のディスクやDAT等の磁気テープがあり、これらを用いるときには、上記図示しない磁気ディスクメディアリードライト装置に代えてまたはさらにCD-ROM装置、MD装置、MO装置、DVD装置、DAT装置等を用いればよい。

【0164】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、組織における複数の対象者に関する意識データである各々が有する知識資産や行動に関する特徴資産を表す意識データを集めて蓄積し、蓄積した意識データを分析しかつ分析結果を、組織に関する情報として提示するので、組織または対象者の知識資産と、組織または対象者の行動に関する特徴資産の関連を分析して提示でき、知識のみに限定されない自由度が高い分析結果を導出できる、という効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の実施の形態にかかるネットワークシステムにおいて、知識経営を支援するための情報の扱いおよび流れを概念的に示したイメージ図である。

【図2】 本発明の実施の形態にかかるネットワークシステムの概念を示す構成図である。

【図3】 本発明の実施の形態にかかるネットワークシステムにおけるコンピュータによる情報の授受について機能的に示したブロック図である。

【図4】 蓄積サーバの処理の流れを示すフローチャートである。

【図5】 分析サーバの処理の流れを示すフローチャートである。

【図6】 本実施の形態にかかる知識資産の把握および



分類に関する知識資産モデルの具体例を示す概念図である。

【図7】 知識資産モデル50を採用したときの調査結果の一例を示すイメージ図である。

【図8】 ナレッジ・ワーカーを4つのワークスタイルに分類する過程を示すイメージ図である。

【図9】 知識経営の特性を分類した場合のイメージ図である。

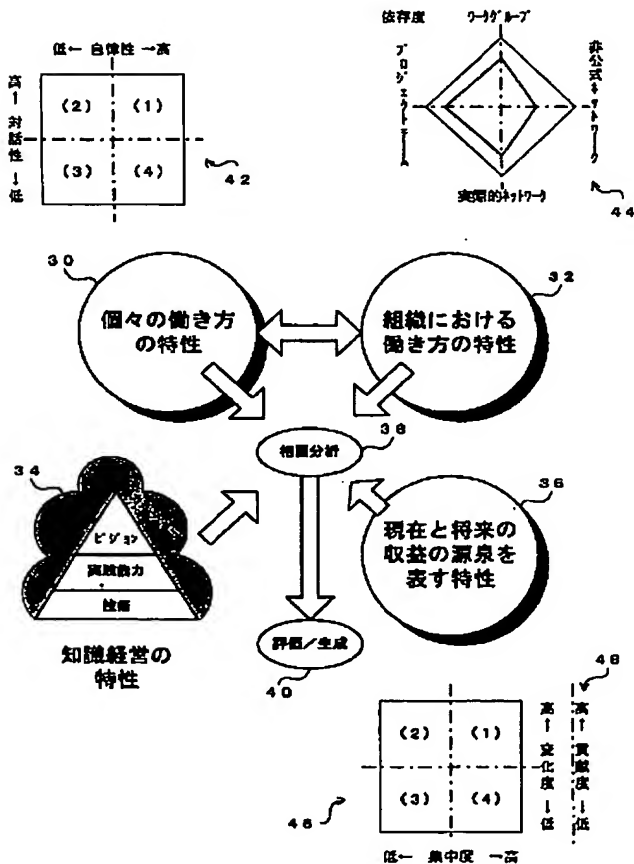
【図10】 意識データについて相関分析をした結果を示すイメージ図である。

【符号の説明】

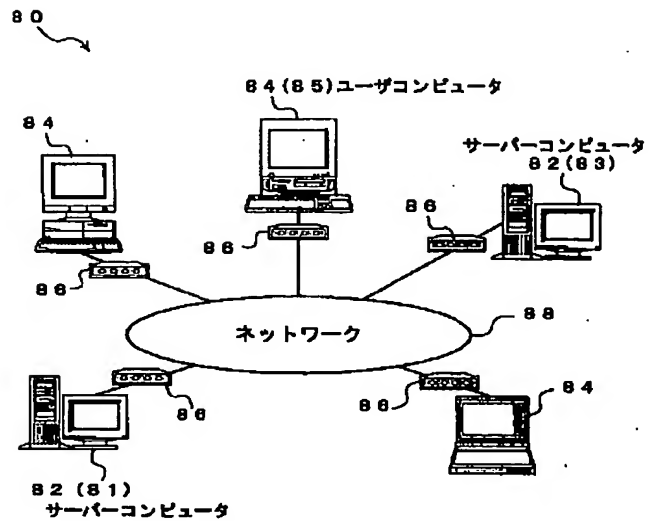
- 12 アプリケーション部
- 14 アンケート基本情報記憶部
- 16 データベース部
- 22 アプリケーション部
- 24 分析プログラム記憶部

- 26 データベース部
- 30 個々の働き方の特性（時間・場所的資産）
- 32 組織における働き方の特性（ネットワーク的資産）
- 34 知識経営の特性（知識経営資産）
- 36 現在と将来の収益の源泉を表す特性（収益的資産）
- 38 相関分析
- 40 評価／生成
- 80 ネットワークシステム
- 81 分析サーバ
- 83 蓄積サーバ
- 85 ユーザ・コンピュータ
- 86 接続装置
- 88 通信回線

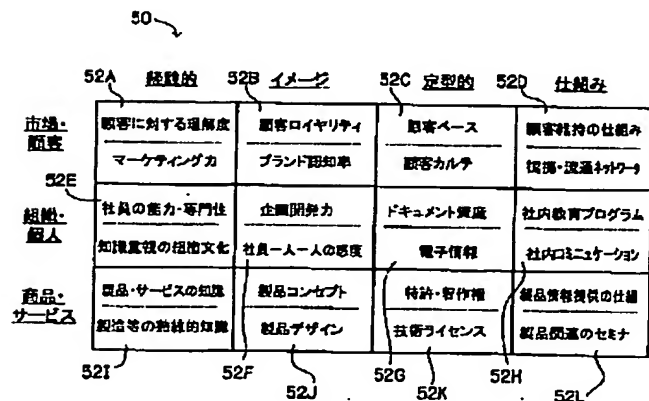
【図1】



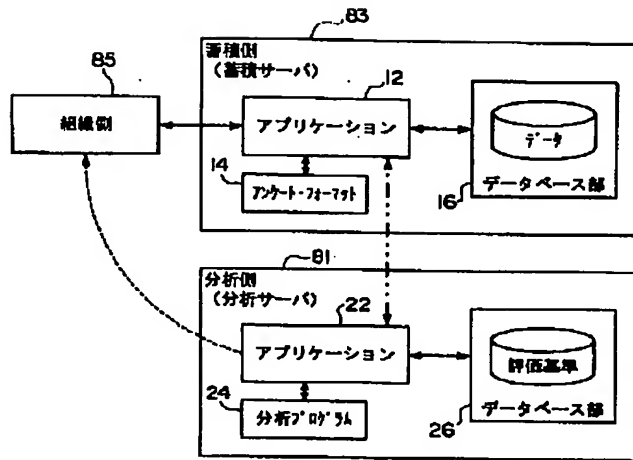
【図2】



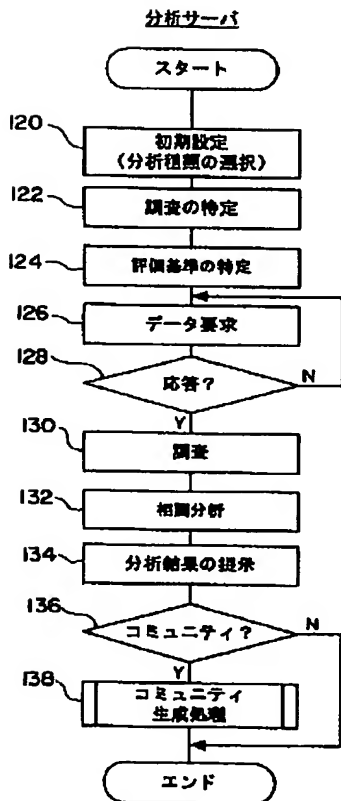
【図6】



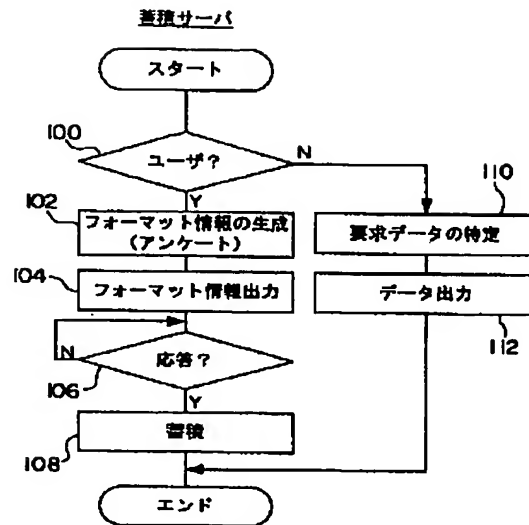
【図3】



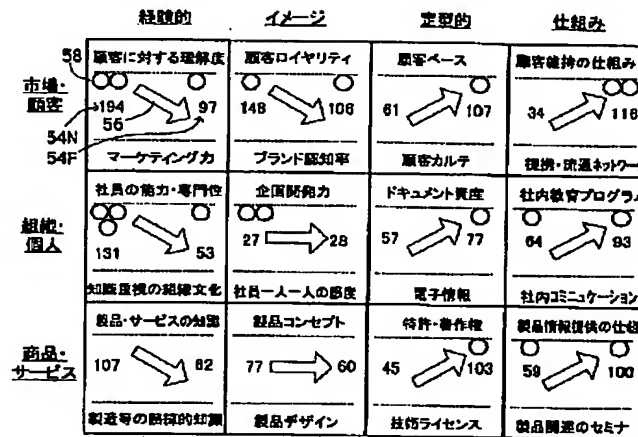
【図5】



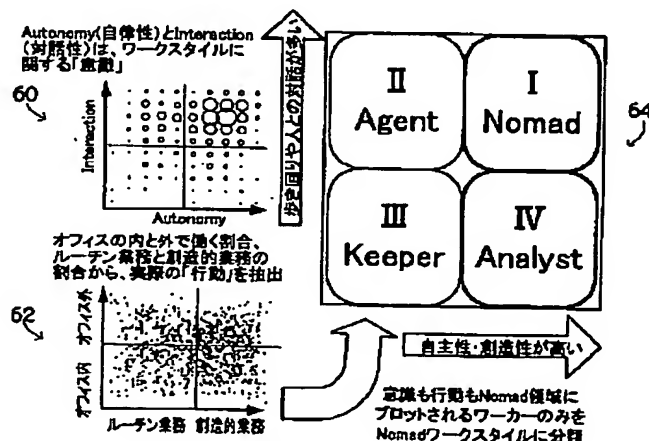
【図4】



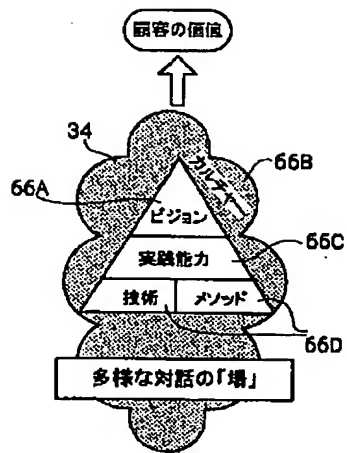
【図7】



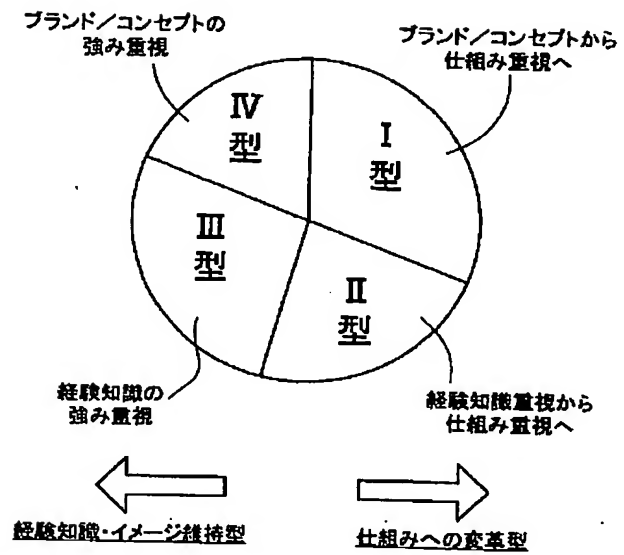
【図8】



【図9】



【図10】



# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-207844

(43)Date of publication of application : 26.07.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

(21)Application number : 2001-306073

(71)Applicant : FUJI XEROX CO LTD

(22)Date of filing : 02.10.2001

(72)Inventor : NOMURA YASUHIKO  
KONNO NOBORU

(30)Priority

Priority number : 2000345309 Priority date : 13.11.2000 Priority country : JP

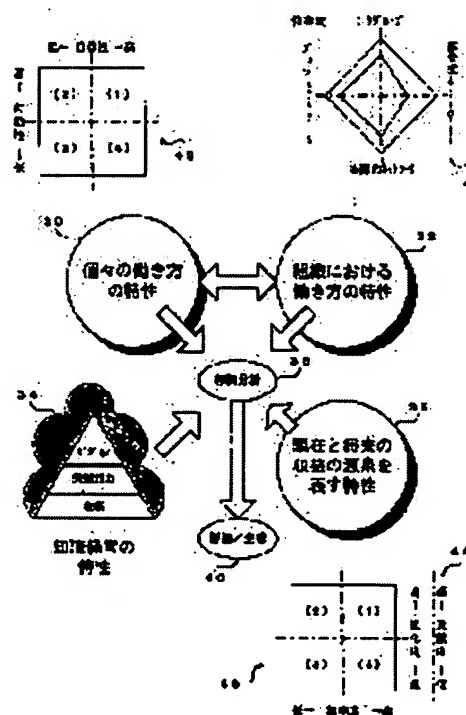
## (54) KNOWLEDGE MANAGEMENT DIAGNOSTIC METHOD, ITS DEVICE, PROGRAM AND STORAGE MEDIUM

(57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To automatically generate a community to evaluate/diagnose corporate management from the viewpoint of creation/utilization of knowledge and to enhance the corporate management.

**SOLUTION:** Questionnaires regarding consciousness and work styles of employees are collected, a management status of an organization is diagnosed based on the questionnaires, directionality of improvement/innovation is indicated and the community of people to be interested in specific knowledge and with close work styles is automatically generated. Knowledge property is first sorted into characteristics 30 of individual work styles, characteristics 32 of work styles in the organization and indication characteristics 36 of sources

of profit in the present and in the future and characteristics 34 of the knowledge management are added to them. Correlation analysis is performed by using the characteristics in correlation analysis 38, an analysis result by the correlation analysis 38 is evaluated and the



community is generated from the analysis result in evaluation/generation 40.

---

## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

## \* NOTICES \*

Japan Patent Office is not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. \*\*\*\* shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

---

## CLAIMS

---

### [Claim(s)]

[Claim 1] When collecting the data about two or more candidates who can set in the organization which set beforehand and diagnosing knowledge management, the information about said organization Collect beforehand the consciousness data showing the concerning knowledge property and action at least description property which is the knowledge management diagnostic approach shown through a communication line, and each has from two or more of said candidates' each, and they are stored. The knowledge management diagnostic approach characterized by showing the information about said organization by analyzing the stored consciousness data and outputting an analysis result towards the end of a presentation side edge through said communication line.

[Claim 2] Said knowledge property is the knowledge management diagnostic approach according to claim 1 characterized by being time knowledge property in case two or more of said candidates' each contributes to said organization.

[Claim 3] The knowledge management diagnostic approach according to claim 1 or 2 characterized by collecting further the knowledge management property about the knowledge management which two or more of said candidates' each has, and accumulating it as said knowledge property.

[Claim 4] Said description property is the knowledge management diagnostic approach given in any 1 term of claim 1 characterized by expressing the condition that two or more of said candidates' each processes work thru/or claim 3.

[Claim 5] The condition of processing said work is the knowledge management diagnostic approach according to claim 4 characterized by expressing at least one condition of the location with autonomy and the persons concerned to work cooperated and processed.

[Claim 6] The condition of processing said work is the knowledge management diagnostic approach according to claim 4 or 5 characterized by expressing a cooperation condition with the persons concerned when processing work.

[Claim 7] The knowledge management diagnostic approach given in any 1 term of claim 1 characterized by searching for the correlation between the consciousness data of the both sides of said knowledge property and said description property when analyzing said stored consciousness data thru/or claim 6.

[Claim 8] The knowledge management diagnostic approach given in any 1 term of claim 1 characterized by searching for the correlation between the consciousness data of the both sides showing a cooperation condition with the persons concerned when processing said knowledge property and said work of the description property when analyzing said stored consciousness data thru/or claim 6.

[Claim 9] The knowledge management diagnostic approach given in any 1 term of claim 1 characterized by searching for the correlation between the consciousness data of the both sides of said knowledge property and said knowledge management property when analyzing said stored consciousness data thru/or claim 6.

[Claim 10] The knowledge management diagnostic approach given in any 1 term of claim 1 characterized by searching for the correlation between the consciousness data of the both sides of said knowledge management property and said description property when analyzing said stored



consciousness data thru/or claim 6.

[Claim 11] The knowledge management diagnostic approach given in any 1 term of claim 1 characterized by searching for the correlation between the consciousness data of the both sides showing a cooperation condition with the persons concerned when processing said knowledge management property and said work of the description property when analyzing said stored consciousness data thru/or claim 6.

[Claim 12] The knowledge management diagnostic approach given in any 1 term of claim 1 characterized by building further the information share object showing the candidate group which classified the candidate who \*\*\*\* one [ at least ] property of said knowledge property inputted beforehand and said description property, and was classified based on said analysis result thru/or claim 11.

[Claim 13] The knowledge management diagnostic approach given in any 1 term of claim 1 characterized by building further the information share object showing the candidate group which classified two or more candidates who can set in said organization, and was classified based on said analysis result thru/or claim 12.

[Claim 14] The knowledge management diagnostic approach given in any 1 term of claim 1 characterized by setting two or more organizations beforehand as said organization, carrying out said analysis about each organization, and including an analysis result for class Orima's comparison result further thru/or claim 13.

[Claim 15] Said consciousness data are the knowledge management diagnostic approach given in any 1 term of claim 1 characterized by for a server collecting beforehand and accumulating it thru/or claim 14.

[Claim 16] Said consciousness data are the knowledge management diagnostic approach according to claim 15 characterized by collecting the consciousness data to which weight was given by said candidate.

[Claim 17] The knowledge management diagnostic approach according to claim 16 which classified said candidate beforehand and was classified and which is characterized by said consciousness data acquisition \*\*\*\*\* for every candidate.

[Claim 18] In the knowledge management diagnostic equipment which presents the information about said organization through a communication line when collecting the data about two or more candidates who can set in the organization which set beforehand and diagnosing knowledge management An are recording means to collect and store the consciousness data showing the concerning knowledge property and action at least description property which each has from two or more of said candidates' each, Knowledge management diagnostic equipment characterized by having a presentation means to show the information about said organization by analyzing the stored consciousness data and outputting an analysis result towards the end of a presentation side edge through said communication line.

[Claim 19] When collecting the data about two or more candidates who can set in the organization which set beforehand and diagnosing knowledge management, the information about said organization The consciousness data showing the concerning knowledge property and action at least description property which is the knowledge management diagnostic program shown through a communication line, and each has from two or more of said candidates' each are collected and stored up. The knowledge management diagnostic program characterized by what is made to show the information about said organization by analyzing the stored consciousness data and outputting an analysis result towards the end of a presentation side edge through said communication line.

[Claim 20] When collecting the data about two or more candidates who can set in the organization which set beforehand and diagnosing knowledge management, the information about said organization It is the storage which memorized the knowledge management diagnostic program shown through a communication line. The consciousness data showing the concerning knowledge property and action at least description property which each has are collected and stored up from two or more of said candidates' each. The storage which memorized the knowledge management diagnostic program characterized by what is made to show the information about said organization by analyzing the stored

consciousness data and outputting an analysis result towards the end of a presentation side edge through said communication line.

[Claim 21] Two or more knowledge items which include the item about experiential knowledge and the item about finite knowledge at least are displayed. While accumulating the knowledge item important for the organization to which those candidates belong now inputted by two or more candidates as 1st consciousness data and computing the number of inputs for every knowledge item The knowledge item which was inputted by said two or more candidates and which becomes important for the organization to which these candidates belong in the future is accumulated as 2nd consciousness data. The knowledge management diagnostic approach characterized by computing the number of inputs for every knowledge item, comparing the calculation result about said 1st consciousness data with the calculation result about said 2nd consciousness data, matching the comparison result with each knowledge item, and displaying it.

[Claim 22] for the organization in which that candidate belongs to the candidate belonging to a managerial layer -- current -- the knowledge management diagnostic approach according to claim 21 characterized by making the knowledge item which becomes important in the future with an important knowledge item input, and displaying this input result together with said comparison result.

[Claim 23] In the knowledge management diagnostic equipment which presents this diagnostic result through a communication line when collecting the data about two or more candidates and diagnosing knowledge management An output means to output the display information for displaying two or more knowledge items which include the item about experiential knowledge, and the item about finite knowledge at least, While accumulating the knowledge item important for the organization to which those candidates belong now inputted by two or more candidates as 1st consciousness data and computing the number of inputs for every knowledge item corresponding to the display of said knowledge item A calculation means inputted by said two or more candidates to accumulate the knowledge item which becomes important in the future as 2nd consciousness data, and to compute the number of inputs for every knowledge item for the organization to which these candidates belong, Knowledge management diagnostic equipment characterized by having a presentation means to compare the calculation result about said 1st consciousness data with the calculation result about said 2nd consciousness data, and to match the comparison result with each knowledge item, and to display it.

[Claim 24] The item are the knowledge management diagnostic program which presents this diagnostic result through a communication line when collecting the data about two or more candidates and diagnosing knowledge management, and concerning experiential knowledge, Make the display information for displaying two or more knowledge items which include the item about finite knowledge at least output, and it corresponds to the display of said knowledge item. While storing up the knowledge item important for the organization to which those candidates belong now inputted by two or more candidates as 1st consciousness data and making the number of inputs for every knowledge item compute The knowledge item which was inputted by said two or more candidates and which becomes important for the organization to which these candidates belong in the future is stored up as 2nd consciousness data. The knowledge management diagnostic program characterized by making the number of inputs for every knowledge item compute, making the calculation result about said 1st consciousness data compare with the calculation result about said 2nd consciousness data, matching the comparison result with each knowledge item, and displaying it.

[Claim 25] The item are the storage which memorized the knowledge management diagnostic program which presents this diagnostic result through a communication line when collecting the data about two or more candidates and diagnosing knowledge management, and concerning experiential knowledge, Make the display information for displaying two or more knowledge items which include the item about finite knowledge at least output, and it corresponds to the display of said knowledge item. While storing up the knowledge item important for the organization to which those candidates belong now inputted by two or more candidates as 1st consciousness data and making the number of inputs for every knowledge item compute The knowledge item which was inputted by said two or more candidates and which becomes important for the organization to which these candidates belong in the future is stored up as

2nd consciousness data. The storage which memorized the knowledge management diagnostic program characterized by making the number of inputs for every knowledge item compute, making the calculation result about said 1st consciousness data compare with the calculation result about said 2nd consciousness data, matching the comparison result with each knowledge item, and displaying it.

[Claim 26] Two or more knowledge items which include the item about experiential knowledge and the item about finite knowledge at least are displayed. While accumulating the knowledge item important for the organization to which those candidates belong now inputted by two or more candidates as 1st consciousness data and computing the number of inputs for every knowledge item The knowledge item which was inputted by said two or more candidates and which becomes important for the organization to which these candidates belong in the future is accumulated as 2nd consciousness data. In the knowledge item which accumulated the information about a candidate's own contribution in two or more knowledge items which computed the number of inputs for every knowledge item, and was inputted by two or more candidates as 3rd consciousness data, and was chosen The knowledge management diagnostic approach characterized by specifying the candidate who inputted the data about said contribution.

[Claim 27] The knowledge management diagnostic approach according to claim 26 characterized by comparing the works tile made into the ideal beforehand remembered to be works tiles which are memorized beforehand, and which process interaction with the persons concerned in the autonomy and work over work, and work, such as a location, about said specified candidate, and showing the difference.

[Claim 28] In the knowledge management diagnostic equipment which presents this diagnostic result through a communication line when collecting the data about two or more candidates and diagnosing knowledge management An output means to output the display information for displaying two or more knowledge items which include the item about experiential knowledge, the item about experiential knowledge, and the item about finite knowledge at least, While accumulating the knowledge item important for the organization to which those candidates belong now inputted by two or more candidates as 1st consciousness data and computing the number of inputs for every knowledge item A calculation means inputted by said two or more candidates to accumulate the knowledge item which becomes important in the future as 2nd consciousness data, and to compute the number of inputs for every knowledge item for the organization to which these candidates belong, In an are recording means inputted by two or more candidates to accumulate the information about a candidate's own contribution in two or more knowledge items as 3rd consciousness data, and the selected knowledge item Knowledge management diagnostic equipment characterized by having a specific means to specify the candidate who inputted the data about said contribution.

[Claim 29] The item are the knowledge management diagnostic program which presents this diagnostic result through a communication line when collecting the data about two or more candidates and diagnosing knowledge management, and concerning experiential knowledge, The display information for displaying two or more knowledge items which include the item about experiential knowledge and the item about finite knowledge at least is made to output. While storing up the knowledge item important for the organization to which those candidates belong now inputted by two or more candidates as 1st consciousness data and making the number of inputs for every knowledge item compute The knowledge item which was inputted by said two or more candidates and which becomes important for the organization to which these candidates belong in the future is stored up as 2nd consciousness data. In the knowledge item which was made to compute the number of inputs for every knowledge item, was made to accumulate the information about a candidate's own contribution in two or more knowledge items inputted by two or more candidates as 3rd consciousness data, and was chosen The knowledge management diagnostic program characterized by making the candidate who inputted the data about said contribution specify.

[Claim 30] The item are the storage which memorized the knowledge management diagnostic program which presents this diagnostic result through a communication line when collecting the data about two or more candidates and diagnosing knowledge management, and concerning experiential knowledge, The display information for displaying two or more knowledge items which include the item about

experiential knowledge and the item about finite knowledge at least is made to output. While storing up the knowledge item important for the organization to which those candidates belong now inputted by two or more candidates as 1st consciousness data and making the number of inputs for every knowledge item compute The knowledge item which was inputted by said two or more candidates and which becomes important for the organization to which these candidates belong in the future is stored up as 2nd consciousness data. In the knowledge item which was made to compute the number of inputs for every knowledge item, was made to accumulate the information about a candidate's own contribution in two or more knowledge items inputted by two or more candidates as 3rd consciousness data, and was chosen The storage which memorized the knowledge management diagnostic program characterized by making the candidate who inputted the data about said contribution specify.

[Claim 31] Two or more knowledge items which include the item about experiential knowledge and the item about finite knowledge at least are displayed. While accumulating the knowledge item important for the organization to which those candidates belong now inputted by two or more candidates as 1st consciousness data and computing the number of inputs for every knowledge item The knowledge item which was inputted by said two or more candidates and which becomes important for the organization to which these candidates belong in the future is accumulated as 2nd consciousness data. The knowledge management diagnostic approach characterized by computing the number of inputs for every knowledge item, comparing the calculation result about said 1st consciousness data with the calculation result about said 2nd consciousness data, classifying said organization into two or more types based on the comparison result, and outputting the classification result.

[Claim 32] In the knowledge management diagnostic equipment which presents this diagnostic result through a communication line when collecting the data about two or more candidates and diagnosing knowledge management An output means to output the display information for displaying two or more knowledge items which include the item about experiential knowledge, and the item about finite knowledge at least, While accumulating the knowledge item important for the organization to which those candidates belong now inputted by two or more candidates as 1st consciousness data and computing the number of inputs for every knowledge item A calculation means inputted by said two or more candidates to accumulate the knowledge item which becomes important in the future as 2nd consciousness data, and to compute the number of inputs for every knowledge item for the organization to which these candidates belong, Knowledge management diagnostic equipment characterized by having a classification result output means to compare the calculation result about said 1st consciousness data with the calculation result about said 2nd consciousness data, to classify said organization into two or more types based on the comparison result, and to output the classification result.

[Claim 33] The item are the knowledge management diagnostic program which presents this diagnostic result through a communication line when collecting the data about two or more candidates and diagnosing knowledge management, and concerning experiential knowledge, The display information for displaying two or more knowledge items which include the item about finite knowledge at least is made to output. While storing up the knowledge item important for the organization to which those candidates belong now inputted by two or more candidates as 1st consciousness data and making the number of inputs for every knowledge item compute The knowledge item which was inputted by said two or more candidates and which becomes important for the organization to which these candidates belong in the future is stored up as 2nd consciousness data. The knowledge management diagnostic program characterized by making the number of inputs for every knowledge item compute, making the calculation result about said 1st consciousness data compare with the calculation result about said 2nd consciousness data, making said organization classify into two or more types based on the comparison result, and making the classification result output.

[Claim 34] The item are the storage which memorized the knowledge management diagnostic program which presents this diagnostic result through a communication line when collecting the data about two or more candidates and diagnosing knowledge management, and concerning experiential knowledge, The display information for displaying two or more knowledge items which include the item about finite

knowledge at least is made to output. While storing up the knowledge item important for the organization to which those candidates belong now inputted by two or more candidates as 1st consciousness data and making the number of inputs for every knowledge item compute The knowledge item which was inputted by said two or more candidates and which becomes important for the organization to which these candidates belong in the future is stored up as 2nd consciousness data. Make the number of inputs for every knowledge item compute, and the calculation result about said 1st consciousness data is made to compare with the calculation result about said 2nd consciousness data. The storage which memorized the knowledge management diagnostic program characterized by making said organization classify into two or more types, and making the classification result output based on the comparison result.

---

[Translation done.]

\* NOTICES \*

Japan Patent Office is not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. \*\*\*\* shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

## DETAILED DESCRIPTION

[Detailed Description of the Invention]

[0001]

[Field of the Invention] This invention starts the knowledge management diagnostic approach, equipment, a program, and a storage, and when diagnosing knowledge management especially, it relates to the knowledge management diagnostic approach of showing the description of an organization as various information, equipment, a program, and a storage.

[0002]

[Description of the Prior Art] It is not easy to transmit the knowledge and style which each man has, or to make them understand. That is, it is difficult to express a thought of each man and an idea exactly, or to convey them to a third person generally, and when it is going to grasp it, know-how is experientially accumulated in the side to grasp, and it is used for it in many cases. If the organization in which moving in a group especially is predicted has, it is required that each capacity and description should be grasped exactly or the individual who has the capacity corresponding to the purpose and the description should be assembled from a viewpoint of knowledge management.

[0003] For this reason, the proposal which is going to find out the description of an organization is conventionally made by various approaches from a viewpoint of the knowledge which an individual has. For example, a questionnaire is taken between employees and among officers, much technique of looking at the average and gap exists, and it is daily used also in the company. Moreover, in order to perform automatic organizational design, the automatic organization design system which performs organizational design according to a situation automatically by storing the knowledge of an expert or a experienced person in a design of an organization as a database, and using this is proposed (refer to JP,07-319970,A). With this technique, the database system for designing organization easily based on the past know-how is proposed.

[0004]

[Problem(s) to be Solved by the Invention] However, although the method of measuring the description of an organization in the viewpoint of knowledge as an example for diagnosing knowledge management existed, it sets present condition grasp as the main purposes, and does not consider it from a viewpoint of the gestalt of the organization which changes in time. That is, an organization is not uniform and always changing is predicted. Moreover, there is also a motion attachment \*\* case about a change actively. For that, just the viewpoint of knowledge was inadequate.

[0005] That is, as a circulation platform of information important for an organization, or knowledge, not only formal organization but the importance of an informal community is recognized (reference: Etienne Wenger. William Snyder: Communities of Practice The Organizational Frontier, Harvard Business Review, Jan-Feb, 2000). It was difficult to consider neither discovery of such an informal community, nor the viewpoint of construction, but to harness effectively in organization management.

[0006] This invention aims at the knowledge management diagnostic approach which enables improvement in knowledge capacity according to the inclination of an organization, equipment, a program, and offer of a storage in consideration of the above-mentioned fact.



[0007]

[Means for Solving the Problem] In this invention, it assumes generating automatically the community for evaluating and diagnosing corporate management and raising it from a viewpoint of creating and utilizing knowledge. This community means the place and the information object itself of the distribution of information. For example, while diagnosing the management situation of an organization and showing the directivity of an improvement and reform based on the questionnaire about the consciousness of candidates, such as every employee, or the method of work, the community of people who have interest in specific knowledge, or people near a works tile is generated automatically, and it makes it possible to raise the intellectual productivity and creativity of an organization.

[0008] It is that present-condition grasp enables the improvement in knowledge capacity according to the inclination of an organization by generating automatically the community which serves as the base of knowledge circulation based on the investigation about the knowledge of an in-house, and how to work by this invention to having not been what is the purpose and gives the concrete approach which raises knowledge capacity based on the results of an investigation although the approach of measuring in the viewpoint of [ in this ] knowledge for the description of the former and an organization existed.

[0009] Namely, the 1st invention collects the data about two or more candidates who can set in the organization which set beforehand. It is the knowledge management diagnostic approach of showing the information about said organization through a communication line when diagnosing knowledge management. From two or more of said candidates' each, collect beforehand the consciousness data showing the concerning knowledge property and action at least description property which each has, and they are stored. It is characterized by showing the information about said organization by analyzing the stored consciousness data and outputting an analysis result towards the end of a presentation side edge through said communication line.

[0010] In this invention, the data about two or more candidates who can set in the organization which set beforehand are collected. From two or more candidates' each, the consciousness data showing the concerning knowledge property and action at least description property which each has are collected beforehand, and this data stores them. By this, knowledge property and the description property about action can be accumulated as data at least. The information about an organization is shown by analyzing this stored consciousness data and outputting an analysis result towards the end of a presentation side edge through a communication line. This is equivalent also to the diagnostic result of having diagnosed knowledge management. Therefore, since the relation of the description property about a candidate's [ an organization a candidate's knowledge property and an organization, or ] action can be analyzed and shown, an analysis result with the high degree of freedom which is not limited only to knowledge can be derived.

[0011] Said knowledge property is characterized by being time knowledge property in case two or more of said candidates' each contributes to said organization.

[0012] As for knowledge property, the contents and gestalt may be changed with time amount. That is, construction of an organization changes with whether it predicts whether the time of a candidate contributing is current in the future. For this reason, the improvement in contribution covering the time difference as information about an organization, for example, the future [ present ], maintenance, and a fall can be offered as information by using time knowledge property in case two or more candidates' each contributes to an organization. For example, an organization can be classified on the basis of each of being a knowledge field important for an organization now, i.e., becoming the knowledge field which will become important for an organization in the future, based on the consciousness data stored about knowledge property important for an organization. Moreover, an organization can be further classified into for example, a present condition strengthening mold and a change mold according to whether the contribution inclination of catching the knowledge field where the candidate is contributing to construction of an organization, i.e., a knowledge field, is current, or it is a future.

[0013] It is characterized by collecting further the knowledge management property about the knowledge management which two or more of said candidates' each has, and accumulating it as said knowledge property.

[0014] It has made to take the management into consideration into the premise, and an organization is catching knowledge property also from a management-viewpoint, and can present an analysis result with the high degree of freedom which looked at knowledge property in management. For example, the requirements for knowledge management are mentioned about items, such as a vision, practice capacity, technology, and a culture, and it becomes possible to analyze from a knowledge management-viewpoint by taking into consideration whether it is filled.

[0015] It is characterized by said description property expressing the condition that two or more of said candidates' each processes work.

[0016] By expressing the condition that two or more candidates' each processes work as the action, about action, the description property can be regarded as a works tile and can specify the gestalt of action easily more.

[0017] The condition of processing said work is characterized by expressing at least one condition of the location with autonomy and the persons concerned to work cooperated and processed.

[0018] Although each candidate has a style in order to process work, where [ autonomy, the degree of a dialogue, and ] it is working can classify according to a works tile on the basis of independence nature, the action range, etc. about the method of the work on the 1st about an individual works tile.

Presentation of thereby more warm information is attained.

[0019] The condition of processing said work is characterized by expressing a cooperation condition with the persons concerned when processing work.

[0020] In case required knowledge is acquired, not only the activity only by the individual but cooperation of a third person is obtained, or the data on a network are used in many cases. Then, the description property can be classified and treated more in a detail by including the dependency to human networks, such as this workgroup which uses, project team, etc.

[0021] When analyzing said stored consciousness data, it is characterized by searching for the correlation between the consciousness data of the both sides of said knowledge property and said description property.

[0022] Thus , if the stored consciousness data be analyze by search for the correlation between the consciousness data of the both sides of knowledge property and the description property , for example the strategy about knowledge property aim at the change mold , although the works tile which be the example of the description property must have the strong both sides of autonomy and external orientation , the difference and inclination of this relation can be derive easily .

[0023] When analyzing said stored consciousness data, it is characterized by searching for the correlation between the consciousness data of the both sides showing a cooperation condition with the persons concerned when processing said knowledge property and said work of the description property.

[0024] thus , if the stored consciousness data be analyze by search for the correlation between the consciousness data of the both sides showing a cooperation condition with the persons concerned when process knowledge property and said work of the description property , for example the knowledge property strategy aim at the change mold , although the human network which be the example of the description property have a strong community OBU plaque TISU dependence , the difference and the inclination of this relation can derive easily .

[0025] When analyzing said stored consciousness data, it is characterized by searching for the correlation between the consciousness data of the both sides of said knowledge property and said knowledge management property.

[0026] Thus, if the stored consciousness data are analyzed by searching for the correlation between the consciousness data of the both sides of knowledge property and said knowledge management property, it will become easy to judge whether the improvement in whenever [ knowledge property management ] is proportional to the shift to the way knowledge property should be, for example.

[0027] When analyzing said stored consciousness data, it is characterized by searching for the correlation between the consciousness data of the both sides of said knowledge management property and said description property.

[0028] Thus, if the stored consciousness data are analyzed by searching for the correlation between the

consciousness data of the both sides of knowledge management property and said description property, it will become easy to judge whether the improvement in whenever [ knowledge property management ] is proportional to the shift to the way a works tile should be, for example.

[0029] When analyzing said stored consciousness data, it is characterized by searching for the correlation between the consciousness data of the both sides showing a cooperation condition with the persons concerned when processing said knowledge management property and said work of the description property.

[0030] Thus, if the stored consciousness data are analyzed by searching for the correlation between the consciousness data of the both sides showing a cooperation condition with the persons concerned when processing knowledge management property and said work of the description property, it will become easy to judge whether the improvement in whenever [ knowledge property management ] is proportional to the shift to the way a human network should be, for example.

[0031] It is characterized by building further the information share object showing the candidate group which classified the candidate who \*\*\*\* one [ at least ] property of said knowledge property inputted beforehand and said description property, and was classified based on said analysis result.

[0032] If an organization has, there is a case where he wants to assemble the candidate who has the knowledge property which a managerial position person etc. means. Then, it can input beforehand as what means one [ at least ] property of knowledge property and the description property, and the candidate who has the knowledge property which a managerial position person etc. means easily can be assembled by building further the information share object showing the candidate group which classified the candidate who \*\*\*\* this and was classified.

[0033] It is characterized by building further the information share object showing the candidate group which classified two or more candidates who can set in said organization, and was classified based on said analysis result.

[0034] When an organization is investigated and analyzed, the candidate who has a fixed inclination may be distributed. Then, communities, such as a group who is in an in-house and cannot express with the gestalt of regulation, can be easily built by building the information share object showing the candidate group according to the distribution. This community has an information list showing the candidate aiming at information sharing of a mailing list etc.

[0035] Two or more organizations are beforehand set as said organization, said analysis is carried out about each organization, and it is characterized by including an analysis result for class Orima's comparison result further.

[0036] When between two or more organizations and the organization of an ideal exist by doing in this way, these differences can be grasped easily and the shift to the way an organization should be can be performed easily.

[0037] Moreover, when setting two or more organizations as an organization, it is not limited to the organization of the same gestalt, for example, the same company. You may be the organization of the company where the other company in the same trade differs from plurality that what is necessary is just two or more organization gestalten. In this case, an analysis result can be searched for for the comparison result during an organization by searching for the analysis result of each organization of that standard analysis result in quest of an analysis result standard about two or more organizations.

[0038] By doing in this way, when two or more organizations of a same trade kind are set as an organization, the target organization can be asked for the inclination of a candidate organization in a same trade kind as an analysis result.

[0039] A server can collect said consciousness data beforehand and can store them.

[0040] When storing consciousness data, the consciousness data showing the knowledge property which two or more candidates' each has, or the description property about action are collected beforehand, but when collecting these data, you may collect through a communication line from a candidate, and it can collect in inputting immediate data. In [ this ] collecting, it becomes possible by collecting by the server to make data collect unitary.

[0041] Said consciousness data can collect the consciousness data to which weight was given by said

candidate.

[0042] Consciousness data have a different judgment for two or more candidates' each in many cases. Namely, the consciousness data showing knowledge property or the description property about action are data of each candidate each, and the candidate may assume weight like importance or simplicity for every consciousness data. Then, each consciousness data can be faithfully stored about a candidate by collecting the consciousness data to which weight was given by the candidate.

[0043] Said candidate is classified beforehand and gets said consciousness data acquisition \*\*\*\*\* for every classified candidate.

[0044] In an in-house, as for two or more candidates for storing consciousness data, positions differ like the existence value and charge in many cases. Then, a candidate can be classified beforehand and the are recording and analysis of data which were classified and which took the position into consideration to the organization by consciousness data acquisition \*\*\*\*\* for every candidate can be enabled. An analysis result with the high degree of freedom which subdivided more or looked at the organization polarly opposite by this can be derived.

[0045] Said knowledge management diagnostic approach is easily realizable with the following knowledge management diagnostic equipment. In the knowledge management diagnostic equipment which presents the information about said organization through a communication line when collecting the data about two or more candidates who can set in the organization which set to the detail beforehand and diagnosing knowledge management An are recording means to collect and store the consciousness data showing the concerning knowledge property and action at least description property which each has from two or more of said candidates' each, It has a presentation means to show the information about said organization, by analyzing the stored consciousness data and outputting an analysis result towards the end of a presentation side edge through said communication line.

[0046] Moreover, the processing which diagnoses knowledge management is easily realizable with the following knowledge management diagnostic program. When collecting the data about two or more candidates who can set in the organization which set to the detail beforehand and diagnosing knowledge management, the information about said organization It is the knowledge management diagnostic program shown through a communication line. A knowledge management diagnostic program The consciousness data showing the concerning knowledge property and action at least description property which each has are collected and stored up from two or more of said candidates' each. The information about said organization is made to show by analyzing the stored consciousness data and outputting an analysis result towards the end of a presentation side edge through said communication line.

[0047] Moreover, the knowledge management diagnostic program which carries out processing which diagnoses knowledge management with the storage which memorized the following knowledge management diagnostic program is installable in possession, conveyance, and a computer. When collecting the data about two or more candidates who can set in the organization which set to the detail beforehand and diagnosing knowledge management, the information about said organization It is the storage which memorized the knowledge management diagnostic program shown through a communication line. A knowledge management diagnostic program collects and stores up the consciousness data showing the concerning knowledge property and action at least description property which each has from two or more of said candidates' each. The information about said organization is made to show by analyzing the stored consciousness data and outputting an analysis result towards the end of a presentation side edge through said communication line.

[0048] Moreover, the item about knowledge with the experiential knowledge management diagnostic approach of the 2nd invention, Two or more knowledge items which include the item about finite knowledge at least are displayed. While accumulating the knowledge item important for the organization to which those candidates belong now inputted by two or more candidates as 1st consciousness data and computing the number of inputs for every knowledge item The knowledge item which was inputted by said two or more candidates and which becomes important for the organization to which these candidates belong in the future is accumulated as 2nd consciousness data. The number of inputs for every knowledge item is computed, the calculation result about said 1st consciousness data is compared

with the calculation result about said 2nd consciousness data, and it is characterized by matching the comparison result with each knowledge item, and displaying it.

[0049] for the organization in which that candidate belongs to the candidate belonging to a managerial layer by the knowledge management diagnostic approach of the 2nd invention -- current -- the knowledge item which becomes important in the future with an important knowledge item is made to input, and it is characterized by displaying this input result together with said comparison result.

[0050] Moreover, the knowledge management diagnostic approach of the 2nd invention is easily realizable with the following knowledge management diagnostic equipment. In the knowledge management diagnostic equipment which presents this diagnostic result through a communication line when bringing together the data about two or more candidates in a detail and diagnosing knowledge management in it An output means to output the display information for displaying two or more knowledge items which include the item about experiential knowledge, and the item about finite knowledge at least, While accumulating the knowledge item important for the organization to which those candidates belong now inputted by two or more candidates as 1st consciousness data and computing the number of inputs for every knowledge item corresponding to the display of said knowledge item A calculation means inputted by said two or more candidates to accumulate the knowledge item which becomes important in the future as 2nd consciousness data, and to compute the number of inputs for every knowledge item for the organization to which these candidates belong, The calculation result about said 1st consciousness data is compared with the calculation result about said 2nd consciousness data, and it is characterized by having a presentation means to match the comparison result with each knowledge item, and to display it.

[0051] Moreover, the processing which diagnoses knowledge management is easily realizable with the following knowledge management diagnostic program. The item are the knowledge management diagnostic program which presents this diagnostic result through a communication line when bringing together the data about two or more candidates in a detail and diagnosing knowledge management in it, and concerning experiential knowledge, Make the display information for displaying two or more knowledge items which include the item about finite knowledge at least output, and it corresponds to the display of said knowledge item. While storing up the knowledge item important for the organization to which those candidates belong now inputted by two or more candidates as 1st consciousness data and making the number of inputs for every knowledge item compute The knowledge item which was inputted by said two or more candidates and which becomes important for the organization to which these candidates belong in the future is stored up as 2nd consciousness data. Make the number of inputs for every knowledge item compute, the calculation result about said 1st consciousness data is made to compare with the calculation result about said 2nd consciousness data, and it is characterized by matching the comparison result with each knowledge item, and displaying it.

[0052] Moreover, the knowledge management diagnostic program which carries out processing which diagnoses knowledge management with the storage which memorized the following knowledge management diagnostic program is installable in possession, conveyance, and a computer. The item are the storage which memorized the knowledge management diagnostic program which presents this diagnostic result through a communication line when bringing together the data about two or more candidates in a detail and diagnosing knowledge management in it, and concerning experiential knowledge, Make the display information for displaying two or more knowledge items which include the item about finite knowledge at least output, and it corresponds to the display of said knowledge item. While storing up the knowledge item important for the organization to which those candidates belong now inputted by two or more candidates as 1st consciousness data and making the number of inputs for every knowledge item compute The knowledge item which was inputted by said two or more candidates and which becomes important for the organization to which these candidates belong in the future is stored up as 2nd consciousness data. Make the number of inputs for every knowledge item compute, the calculation result about said 1st consciousness data is made to compare with the calculation result about said 2nd consciousness data, and it is characterized by matching the comparison result with each knowledge item, and displaying it.

[0053] The item about knowledge experiential by the knowledge management diagnostic approach of the 3rd invention, Two or more knowledge items which include the item about finite knowledge at least are displayed. While accumulating the knowledge item important for the organization to which those candidates belong now inputted by two or more candidates as 1st consciousness data and computing the number of inputs for every knowledge item The knowledge item which was inputted by said two or more candidates and which becomes important for the organization to which these candidates belong in the future is accumulated as 2nd consciousness data. The information about a candidate's own contribution in two or more knowledge items which computed the number of inputs for every knowledge item, and was inputted by two or more candidates is accumulated as 3rd consciousness data, and it is characterized by specifying the candidate who inputted the data about said contribution in the selected knowledge item.

[0054] By the knowledge management diagnostic approach of the 3rd invention, it is characterized by comparing the works tile made into the ideal beforehand remembered to be works tiles which are memorized beforehand, and which process interaction with the persons concerned in the autonomy and work over work, and work, such as a location, about said specified candidate, and showing the difference.

[0055] Moreover, the knowledge management diagnostic approach of the 3rd invention is easily realizable with the following knowledge management diagnostic equipment. In the knowledge management diagnostic equipment which presents this diagnostic result through a communication line when bringing together the data about two or more candidates in a detail and diagnosing knowledge management in it An output means to output the display information for displaying two or more knowledge items which include the item about experiential knowledge, the item about experiential knowledge, and the item about finite knowledge at least, While accumulating the knowledge item important for the organization to which those candidates belong now inputted by two or more candidates as 1st consciousness data and computing the number of inputs for every knowledge item A calculation means inputted by said two or more candidates to accumulate the knowledge item which becomes important in the future as 2nd consciousness data, and to compute the number of inputs for every knowledge item for the organization to which these candidates belong, It is characterized by having an are recording means inputted by two or more candidates to accumulate the information about a candidate's own contribution in two or more knowledge items as 3rd consciousness data, and a specific means to specify the candidate who inputted the data about said contribution in the selected knowledge item.

[0056] Moreover, the processing which diagnoses knowledge management is easily realizable with the following knowledge management diagnostic program. The item are the knowledge management diagnostic program which presents this diagnostic result through a communication line when bringing together the data about two or more candidates in a detail and diagnosing knowledge management in it, and concerning experiential knowledge, The display information for displaying two or more knowledge items which include the item about experiential knowledge and the item about finite knowledge at least is made to output. While storing up the knowledge item important for the organization to which those candidates belong now inputted by two or more candidates as 1st consciousness data and making the number of inputs for every knowledge item compute The knowledge item which was inputted by said two or more candidates and which becomes important for the organization to which these candidates belong in the future is stored up as 2nd consciousness data. In the knowledge item which was made to compute the number of inputs for every knowledge item, was made to accumulate the information about a candidate's own contribution in two or more knowledge items inputted by two or more candidates as 3rd consciousness data, and was chosen It is characterized by making the candidate who inputted the data about said contribution specify.

[0057] Moreover, the knowledge management diagnostic program which carries out processing which diagnoses knowledge management with the storage which memorized the following knowledge management diagnostic program is installable in possession, conveyance, and a computer. The item are the storage which memorized the knowledge management diagnostic program which presents this



diagnostic result through a communication line when bringing together the data about two or more candidates in a detail and diagnosing knowledge management in it, and concerning experiential knowledge, The display information for displaying two or more knowledge items which include the item about experiential knowledge and the item about finite knowledge at least is made to output. While storing up the knowledge item important for the organization to which those candidates belong now inputted by two or more candidates as 1st consciousness data and making the number of inputs for every knowledge item compute The knowledge item which was inputted by said two or more candidates and which becomes important for the organization to which these candidates belong in the future is stored up as 2nd consciousness data. In the knowledge item which was made to compute the number of inputs for every knowledge item, was made to accumulate the information about a candidate's own contribution in two or more knowledge items inputted by two or more candidates as 3rd consciousness data, and was chosen It is characterized by making the candidate who inputted the data about said contribution specify.

[0058] The item about knowledge experiential by the knowledge management diagnostic approach of the 4th invention, Two or more knowledge items which include the item about finite knowledge at least are displayed. While accumulating the knowledge item important for the organization to which those candidates belong now inputted by two or more candidates as 1st consciousness data and computing the number of inputs for every knowledge item The knowledge item which was inputted by said two or more candidates and which becomes important for the organization to which these candidates belong in the future is accumulated as 2nd consciousness data. The number of inputs for every knowledge item is computed, the calculation result about said 1st consciousness data is compared with the calculation result about said 2nd consciousness data, said organization is classified into two or more types based on the comparison result, and it is characterized by outputting the classification result.

[0059] Moreover, the knowledge management diagnostic approach of the 4th invention is easily realizable with the following knowledge management diagnostic equipment. In the knowledge management diagnostic equipment which presents this diagnostic result through a communication line when bringing together the data about two or more candidates in a detail and diagnosing knowledge management in it An output means to output the display information for displaying two or more knowledge items which include the item about experiential knowledge, and the item about finite knowledge at least, While accumulating the knowledge item important for the organization to which those candidates belong now inputted by two or more candidates as 1st consciousness data and computing the number of inputs for every knowledge item A calculation means inputted by said two or more candidates to accumulate the knowledge item which becomes important in the future as 2nd consciousness data, and to compute the number of inputs for every knowledge item for the organization to which these candidates belong, The calculation result about said 1st consciousness data is compared with the calculation result about said 2nd consciousness data, said organization is classified into two or more types based on the comparison result, and it is characterized by having a classification result output means to output the classification result.

[0060] Moreover, the processing which diagnoses knowledge management is easily realizable with the following knowledge management diagnostic program. The item are the knowledge management diagnostic program which presents this diagnostic result through a communication line when bringing together the data about two or more candidates in a detail and diagnosing knowledge management in it, and concerning experiential knowledge, The display information for displaying two or more knowledge items which include the item about finite knowledge at least is made to output. While storing up the knowledge item important for the organization to which those candidates belong now inputted by two or more candidates as 1st consciousness data and making the number of inputs for every knowledge item compute The knowledge item which was inputted by said two or more candidates and which becomes important for the organization to which these candidates belong in the future is stored up as 2nd consciousness data. Make the number of inputs for every knowledge item compute, make the calculation result about said 1st consciousness data compare with the calculation result about said 2nd consciousness data, said organization is made to classify into two or more types based on the



comparison result, and it is characterized by making the classification result output.

[0061] Moreover, the knowledge management diagnostic program which carries out processing which diagnoses knowledge management with the storage which memorized the following knowledge management diagnostic program is installable in possession, conveyance, and a computer. The item are the storage which memorized the knowledge management diagnostic program which presents this diagnostic result through a communication line when bringing together the data about two or more candidates in a detail and diagnosing knowledge management in it, and concerning experiential knowledge, The display information for displaying two or more knowledge items which include the item about finite knowledge at least is made to output. While storing up the knowledge item important for the organization to which those candidates belong now inputted by two or more candidates as 1st consciousness data and making the number of inputs for every knowledge item compute The knowledge item which was inputted by said two or more candidates and which becomes important for the organization to which these candidates belong in the future is stored up as 2nd consciousness data. Make the number of inputs for every knowledge item compute, make the calculation result about said 1st consciousness data compare with the calculation result about said 2nd consciousness data, said organization is made to classify into two or more types based on the comparison result, and it is characterized by making the classification result output.

[0062]

[Embodiment of the Invention] Hereafter, an example of the gestalt of operation of this invention is explained to a detail with reference to a drawing. With the gestalt of this operation, when communication lines, such as the Internet, are minded, knowledge property is totaled and analyzed about the candidate of an employee's etc. organization and it offers exchange of the creation and the activity by the knowledge property, this invention is applied. Application is suitable for the system which generates a community for corporate management to carry out automatically especially with the gestalt of this operation, and it is suitable for the automatic community generative system which conducts investigation about the knowledge property and the knowledge work piece for advancing knowledge management, and supports knowledge management by searching for the result and correlation during each investigation.

[0063] [Configuration] The outline configuration of the network system which can apply this invention is shown in drawing 2 . As shown in drawing 2 , respectively, same or two or more computers 82 and two or more same or computers 84 by the side of different processing by the side of the organization which a different candidate operates are connected to a network (for example, Internet) 88 through the contacts 86, such as a modem, a router, and TA (terminal adopter: Terminal Adapter), respectively, and the network system 80 is constituted. Information transfer is possible for two or more computers 82 and 84 by two-way communication through a network 88.

[0064] Moreover, the computer by which at least one computer 82 investigates or analyzes knowledge property among two or more computers 82 in the following explanation as shown in drawing 2 It is (calling it a "server computer" hereafter). Moreover, the computer 84 The configuration which functions as a computer 85 by the side of the user who answers the questionnaire when investigating a candidate's knowledge property etc., or receives the data for exchange of the creation and the activity by knowledge property (henceforth a "user computer") is explained as an example. The server computer 82 which stores the consciousness data which expressed a candidate's knowledge property with various kinds of views among the computers which function as a server computer 82 functions as an are recording server 83, and the server computer 82 which analyzes the results of an investigation of knowledge property functions as an analysis server 81. These computers may be operated by one set of a server, and may carry out distributed processing by two or more sets.

[0065] In addition, the user computer 85 corresponds in the end of the presentation side edge of this invention. Moreover, a network 88 is equivalent to the communication line of this invention.

[0066] The gestalt of this operation explains the case where the Internet is applied as a network. In this case, at least one computer can be operated as a WWW (World Wide Web) server, and other machines can also be operated as a WWW client.

[0067] The WWW browser is installed in each user computer 85, and it becomes accessible to arbitration through a network 88 by starting this WWW browser at a detail to the server computer 82 (the analysis server 81, are recording server 83). At this time, an access location (data which consist of a location of the server computer 82 of an access place and a location of the information in the server computer 82) is specified by URL (Uniform Resource Locator).

[0068] The server computer 82 transmits the data in the location specified by URL to the user computer 85 of an accessing agency through a network 88, when there is an access request from the user computer 85. Generally at this time, data are transmitted according to HTTP (Hyper Text Transfer Protocol).

[0069] In addition, although IP (Internet Protocol) address is used for discernment of the user computer 85, the code of other tab control specification, such as URL, may be used. Moreover, the input of user confidence and user ID, such as a code defined beforehand, can be used for discernment of the user who operates the user computer 85.

[0070] In order to carry out a directions input by computer concerned, input devices, such as a keyboard and a mouse, are respectively prepared in the above-mentioned computer, and the display is prepared in order to display the processing result by the computer etc. In addition, since it is a hardware configuration general-purpose [ a computer ] and general, detailed explanation is omitted.

[0071] The functional block diagram showed transfer of the information by the computer by the above-mentioned configuration to drawing 3 . This system can be classified and constituted to the server computer 82 (the analysis server 81, are recording server 83) and the user computer 85. In addition, these computers are not limited to one computer, and they may be constituted so that it may connect in a network and two or more computers may function as a system.

[0072] The are recording server 83 which is the server computer 82 consists of the application section 12, the questionnaire basic information storage section 14, and the database section 16. These each part may be constituted from a computer and may be connected possible [ information transfer ]. The application section 12 is a function part which carries out various processings including the processing which takes out questionnaire information from information transfer and the questionnaire basic information storage section 14 with other computers, transmits to the user computer 85 or mainly receives a result. The questionnaire basic information storage section 14 is the storage section which memorized the data (question for questionnaires) which are the need, and which were set up beforehand, when totaling or analyzing the consciousness data for grasping knowledge property. The database section 16 is a function part which accumulates the result of the questionnaire to which it was answered by the candidate as consciousness data.

[0073] Moreover, the analysis server 81 consists of the application section 22, the analysis-program storage section 24, and the database section 26. These each part may be constituted from a computer and may be connected possible [ information transfer ]. The application section 22 is a function part which carries out various processings including the processing which mainly analyzes a questionnaire according to the program stored in information transfer and the analysis-program storage section 24 with other computers. The analysis-program storage section 24 is the storage section which memorized the analysis program which analyzes knowledge property. The database section 26 is a function part which accumulated beforehand the valuation basis when investigating or evaluating knowledge property.

[0074] [Outline] It is for making it possible to generate automatically the community for evaluating and diagnosing corporate management and raising it with the gestalt of this operation, from a viewpoint of creating or utilizing knowledge based on the above-mentioned configuration. First, while collecting the questionnaires about every employee's consciousness, the method of work, etc., diagnosing the management situation of an organization based on the questionnaire and showing the directivity of an improvement and reform, the community of people who get interested in specific knowledge, or near people of a works tile is generated automatically. This enables it to raise the intellectual productivity and creativity of an organization.

[0075] Moreover, then, although it makes it possible to collect the questionnaires about every employee's consciousness, the method of work, etc., and to diagnose the management situation of an organization etc. based on the questionnaire, while performing various analysis and showing the

directivity of the present grasp, and an improvement and reform, an extract and specification of people who get interested in specific knowledge, and near people of a works tile are enabled. It also becomes possible to offer the data (analysis result) which become possible [ raising the intellectual productivity and creativity of an organization ] by this.

[0076] The conceptual diagram about circulation of various information was shown in drawing 1 . Knowledge property is classified into at least three according to the gestalt of this operation. Each works as the 1st, and as the property (time amount and property regarding the place) 30 of the direction, and the 2nd, it works and is the property (network-property) 32 of the direction and the property (profit-property) 36 of expressing the fountainhead of current and a future profit as the 3rd in an organization. It is also possible to apply the property (knowledge management property) 34 of knowledge management to these. Each works, the property 30 of the direction is a consciousness data constellation showing how time amount is utilized, and its candidates, such as an employee of an organization, are the consciousness data constellations which mean how it works and, as for the property 32 of the direction, the candidate is aiming at communication in an organization. The property 36 of expressing the fountainhead of current and a future profit is the fountainhead of the profit as an organization of current and the future, and is a consciousness data constellation showing the knowledge it is predicted to be to have the knowledge which a candidate has now, or in the future. Furthermore, the property 34 of knowledge management is a consciousness data constellation showing how many items which are needed when carrying out knowledge management which an organization or a candidate has it has. In addition, these consciousness data shall be beforehand stored by the questionnaire.

[0077] Although knowledge property is classified according to the gestalt of this operation as mentioned above, each can work and it can catch with the description property about action in the property (time amount and property regarding the place) 30 and organization of the direction since it works and the property (network-property) 32 of the direction expresses the gestalt of a motion of a candidate as a viewpoint of knowledge property.

[0078] Moreover, although each works and being considered as the property 30 of the direction, and a classification in an organization which works and is different in the property 32 of the direction and the property 34 of knowledge management, and a property 36 above, with the gestalt of this operation, it is not limited to the independent classification. For example, each may work, the property 30 of the direction and the property 32 of the work direction in an organization may be mixed and considered, and you may classify into one or more properties.

[0079] Correlation analysis 38 Each works and it is based on at least two, the property (network-property) 32 of the direction and the property (profit-property) 36 of expressing the fountainhead of current and a future profit in the property (time amount and property regarding the place) 30 of the direction, and an organization, and the property (knowledge management property) 34 of knowledge management, by working. Such correlation analysis It is for carrying out and evaluation / generation 40 is for evaluating the analysis result by correlation analysis 38, or generating a community from an analysis result.

[0080] If an example is given, knowledge property important for the (a) organization and the knowledge property to which the candidate itself contributes will be investigated first. This is equivalent to investigating the property (profit-property) 36 of expressing the fountainhead of a profit. Next, (b) candidate's own knowledge work piece advances, and the description of the direction is investigated (how using individual time amount, the location to commit, communication, etc. specifically working property of the direction). Each works and this is equivalent to the thing in the property (time amount and property regarding the place) 30 of the direction, and an organization for which it works and the property (network-property) 32 of the direction is investigated. These investigations can be derived from the consciousness data stored in the are recording server 83. Moreover, it is desirable that it is a question for beforehand investigation of a questionnaire. Thereby, the consciousness data obtained from a user side serve as results of an investigation as it is. In addition, consciousness data can be stored for these in the are recording server 83. Moreover, you may accumulate in the are recording server 83 as results of an investigation.

[0081] With the gestalt of this operation, the fountainhead of each company's worth is more specifically [ investigation of the knowledge property of the above (a) ] investigating by which knowledge property current is borne. This investigation considers grasp and classification of knowledge property as a more concrete knowledge property model ( drawing 6 ), and is collecting questionnaires to that knowledge property model. In this data collection, ten coin is given to each company member (organization member), and the situation about the present is acquired by arranging ten coin to a knowledge property model ( drawing 6 ) at each company member. And the important knowledge property which each one considers has it it arranged further where it will move in the future. Important knowledge property changed how in the future from the present by that cause, it thinks that what kind of knowledge property must be built towards the future, or the common recognition can be investigated.

[0082] As shown in drawing 6 , the knowledge property model 50 which carried out stratification of the knowledge property which is the fountainhead of value important for a company as a framework adopted with the gestalt of this operation as a knowledge property model to 12 cels 52A-52L of 3x4 is used. Along an axis of ordinate, three classifications, such as knowledge about a commercial scene or a customer, knowledge which an organization and an individual hold, and knowledge embedded in goods and service, are taken. An axis of abscissa is classified into four according to structure, such as finite knowledge of images, such as \*\*\*\*\*, such as business and know-how of manufacture, a brand, and a concept, a document, a database, etc., and an educational program and customer relation. It is a concept effective in a detailed classification to carry out stratification as a knowledge property model, and especially the concept that carries out stratification to 12 cels is the technique known widely (the Konno \*\*\*\*, "management of knowledge property" \*\*\*\*\*).

[0083] In the knowledge property model 50 of drawing 6 , it is considering as the classification showing the degree of comprehension and marketing force to a customer to the knowledge about a commercial scene or a customer, using the layer of experiential knowledge property, such as business and know-how of manufacture, as cel 52A. Moreover, it is considering as the classification showing a customer loyalty and the rate of brand awareness to the knowledge about a commercial scene or a customer, using the layer of the knowledge property of images, such as a brand and a concept, as cel 52B. Moreover, it is considering as the classification showing the customer base and a customer clinical recording to the knowledge about a commercial scene or a customer by setting the layer of finite knowledge property, such as a document and a database, to cel 52C. Moreover, it is considering as the classification showing the structure of customer maintenance, and tie-up / circulation network to the knowledge about a commercial scene or a customer by setting the layer of the knowledge property of structure, such as an educational program and customer relation, to cel 52D.

[0084] It is considering as the classification showing the corporate culture of personnel's capacity and expert, and knowledge serious consideration, using as cel 52E the layer of the experiential knowledge property over the knowledge which an organization and an individual hold similarly. Moreover, it is considering as the classification showing the sensibility of the plan development force and every photograph, using as cel 52F the layer of the knowledge property of the image over the knowledge which an organization and an individual hold. Moreover, it is considering as the classification showing document property and electronic intelligence, using as cel 52G the layer of the finite knowledge property over the knowledge which an organization and an individual hold. Moreover, it is considering as the classification showing an in-house training program and in-house communication, using as cel 52H the layer of the knowledge property of the structure over the knowledge which an organization and an individual hold.

[0085] And it is considering as the classification showing the skillful-like knowledge, such as knowledge of a product and service, and manufacture, using as cel 52I the layer of the experiential knowledge property over the knowledge embedded in goods and service. Moreover, it is considering as the classification showing a product concept and a product design, using as cel 52J the layer of the knowledge property of the image over the knowledge embedded in goods and service. Moreover, it is considering as the classification showing a patent, copyright, and a technical license, using as cel 52K the layer of the finite knowledge property over the knowledge embedded in goods and service.

Moreover, it is considering as the classification showing the structure of product information offer, and a product-related seminar, using as cel 52L the layer of the knowledge property of the structure over the knowledge embedded in goods and service.

[0086] Twelve cels 52A-52L expressed with the knowledge property model 50 of drawing 6 can be considered to be the knowledge items which classified knowledge property, and can divide this knowledge item roughly into the following item. The layer (for example, cel 52A is included) of the experiential knowledge property which is a classification of the axis of abscissa explained in the example of drawing 6, the layer (for example, cel 52B is included) of the knowledge property of an image, the layer (for example, cel 52C is included) of finite knowledge property, and the layer (for example, cel 52D is included) of the knowledge property of structure can be classified with a knowledge item.

[0087] To the layer of the experiential knowledge property expressed with the knowledge property model 50, the item about experiential knowledge is generable as a questionnaire, and to the layer of finite knowledge property, the item about finite knowledge can be generated as a questionnaire, and knowledge items with the main knowledge property about candidates, such as personnel, can be generated as a questionnaire.

[0088] Therefore, candidates, such as personnel, can investigate the present situation or a future prediction situation by giving coin to the knowledge item considered to be the situation predicted the present situation or in the future.

[0089] For example, one [ at least ] consciousness data of the 2nd consciousness data are [ the knowledge item which becomes important for the organization to which the 1st consciousness data and these candidates belong the knowledge item important for the organization to which the candidate belongs now in the future ] computable in the coin given by two or more candidates, such as personnel, for every knowledge item by considering them as an input.

[0090] In addition, the candidate set as the object of the knowledge item is not limited to personnel. That is, the candidate belonging to management layers, such as a manager of an organization and a manager, is contained.

[0091] Based on the consciousness data, for example, two above-mentioned results of an investigation, accumulated in the are recording server 83, it analyzes and the following two analysis results ((1) (2)) are outputted. First, the following two data (1a, 1b) are obtained by taking correlation between the (1) above-mentioned two results of an investigation. (1a) In order to heighten the original competitive strength (core competence) of a company, obtain the data for grasping what kind of knowledge property must be \*\*\*\*\*ed. Moreover, the gap between employees, between management-employees, and during management is drawn, and the data is obtained. Thereby, gap can be checked. (1b) In order to heighten competitive strength (core competence), obtain the data for grasping what kind of knowledge work piece should be supported.

[0092] (2) Generate automatically the community of people who get interested in specific knowledge, or near people of a works tile based on the two above-mentioned results of an investigation. Furthermore, a candidate searches the community where oneself belongs and automatic construction of repository/ML (mailing list)/Forum (forum) which consists of the community is carried out.

[0093] Moreover, if the knowledge property model 50 of drawing 6 is made into an example, two or more knowledge items which include the item about experiential knowledge and the item about finite knowledge at least will be shown to two or more candidates possible [ a selection input ] (display).

[0094] From two or more knowledge items which include the item about experiential knowledge, and the item about finite knowledge at least, the knowledge item important for the organization to which those candidates belong now inputted by two or more candidates is accumulated as 1st consciousness data, and the number of inputs for every knowledge item is computed. With this, the knowledge item which was inputted by two or more candidates and which becomes important for the organization to which these candidates belong in the future is accumulated as 2nd consciousness data, and the number of inputs for every knowledge item is computed. And it analyzes by comparing the calculation result about the 1st consciousness data with the calculation result about the 2nd consciousness data, and let it

be an analysis result to match the comparison result with each knowledge item, and to display it. Thereby, it becomes easy to grasp or presume the situation of current and the future.

[0095] In this case, for the organization to which that candidate belongs, the candidate belonging to a managerial layer can be made to be able to input the knowledge item which becomes important in the future with a knowledge item important now, and this input result can also be displayed on him together with the above-mentioned personnel's etc. comparison result.

[0096] [Operation of an operation gestalt] Next, an operation of this operation gestalt is explained. In addition, the gestalt of this operation explains the case where the server computer 82 functions as a WWW (World Wide Web) server, and the user computer 85 functions as a WWW client. In this case -- the user computer 85 -- a network -- the accessible program (the so-called WWW browser) is installed, and it becomes accessible through a network 88 by starting this WWW browser at the server computer 82. An access location (data which consist of a location of the server computer 82 of an access place and a location of the information in the server computer 82) is specified by the so-called URL (Uniform Resource Locator).

[0097] <Are recording server (1)> First, when an access request is made from the user computer 85 to this site (knowledge asset utilization exchange site) to the server computer 82, by the are recording server 83 of the server computer 82, the manipulation routine shown in drawing 4 is performed. Specifically at step 100 of drawing 4, an access request judges the user computer 85 or other server computers 82. In this case, it is affirmed at step 100, and while generating the format information on the screen which should be displayed on the user computer 85 as initial setting in step 102, data are generated and it transmits to the user computer 85 through a network 88. A questionnaire for this to collect data required for the user computer 85 in order to utilize knowledge property is shown.

[0098] Referring to the questionnaire which the user computer 85 was shown, a candidate fills in the corresponding item, or chooses and inputs the reply to a questionnaire. After this input is completed, the inputted data are transmitted from the user computer 85 to the are recording server 83, and in the are recording server 83, decision of a response is affirmed in step 106 of drawing 4, and it progresses to step 108.

[0099] In addition, in order to obtain the reply by the knowledge property model 50 shown in drawing 6, coin is laid in the item. The number of the coin is transmitted as data.

[0100] At step 108, while reading the data which the candidate inputted, it accumulates in a database as consciousness data, and this routine is ended. At the time of this are recording, the data which the candidate inputted, and its questionnaire item correspond.

[0101] With the gestalt of <questionnaire> book operation, the format information as a questionnaire for collecting data required in order to utilize knowledge property includes the attribute information to a candidate. This attribute information consists of items, such as a candidate's age, sex, a position (an executive and duty) of an in-house, the number of other candidates who have managed, a work breakdown, and experience time amount of business, for example, years etc.

[0102] Moreover, this format information includes the reply information classified at the view of an organization, knowledge, an individual and knowledge, and a place and knowledge so that it may be easy to answer a candidate. First, items, such as a systematic measure to the predominance of an organization, important knowledge property, and knowledge, are adopted as an item for obtaining the reply to the view of an organization and knowledge. Moreover, items, such as a process of knowledge creation and an activity, a contribution to knowledge property, and a location of processing (an activity and business), a time amount activity, are adopted as an item for obtaining the reply to the view of an individual and knowledge. Moreover, the item of the community when exchanging the place of knowledge creation and an activity and knowledge etc. is adopted as an item for obtaining the reply to the view of a place and knowledge. Next, an example is explained.

[0103] the judgment over [ the predominance of an organization which is an item for obtaining the reply to the view of an organization and knowledge classifies into many matters the capacity it to be predicted for that the organization has, and ] current and the future -- a degree -- with, the reply is made possible. for example, the judgment over current and the future -- a degree -- with, it can constitute from a matter



of a question type so that it can answer. [ as opposed to / when an organization is a manufacturer / the development force, the technical force, the plan force, the operating force, etc. ] moreover, the judgment over current and the future in how much when important knowledge property carries out categorization of the knowledge property first and it classifies into a property further, where it corresponds -- profitability -- with, it can constitute from a matter of a question type so that it can answer. furthermore, the judgment about many matters in which it is predicted that the organization has the item of the systematic measure to knowledge to knowledge -- a degree -- with, the reply is made possible. In addition, the judgment and opinion on maintenance and expansion of competitive strength can also be searched for in addition to this.

[0104] the location where the process of the knowledge creation and the activity which is an item for obtaining the reply to the view of an individual and knowledge, knowledge property, the location of processing (an activity and business), and a time amount activity are spent on an intellectual activity about everyday business, time amount, and significance -- many matters -- classifying -- a judgment -- a degree -- with, it can constitute from a matter of a question type so that it can answer.

[0105] the location where the item of the place of the knowledge creation and the activity which is an item for obtaining the reply to the view of a place and knowledge works a candidate, and how to tackle - many matters -- classifying -- the judgment -- a degree and comment -- with, it can constitute from a matter of a question type so that it can answer. moreover, the share and joint activity about information transfer between persons other than the candidate it is predicted to be that the candidate has the item of the community where \*\* flies about -- many matters -- classifying -- the judgment of significance -- a degree -- with, it can constitute from a matter of a question type so that it can answer.

[0106] In addition, the item for acquiring the property 36 of expressing the fountainhead of the profit of the reply by the knowledge property model 50 shown in drawing 6 , i.e., the present, and the future defines the item applicable to the above-mentioned cel beforehand, and should just constitute the number of coin possible [ an input ] for every item of the.

[0107] The above format information is stored in the questionnaire basic information storage section 14 of the are recording server 83, and the reply from a candidate is accumulated in the database section 16.

[0108] <Are recording server (2)> When an access request is made from the analysis server 81 to the are recording server 83 on the other hand so that it may mention later, in the are recording server 83, it is denied at step 100 of drawing 4 , and the data progressed and required of step 110 are specified. In this case, it specifies that it is the demand of a candidate's consciousness data since it is the demand from the analysis server 81, and this routine is ended after outputting consciousness data required in order to utilize knowledge property at the following step 112 to the analysis server 81.

[0109] Actuation of a <analysis server>, next the analysis server 81 is explained. In the analysis server 81, the manipulation routine shown in drawing 5 is performed. The analysis class which means how consciousness data are analyzed as initial setting in step 120 of drawing 5 in order to utilize knowledge property is chosen, it specifies what kind of investigation is conducted with consciousness data to the analysis class set up at the above-mentioned step 120 by the following step 122, and the criteria at the time of investigation and analysis are specified in the following step 124. Thus, in the following step 126, after analysis conditions become settled, a data demand is performed so that consciousness data may be outputted to the are recording server 83. In the following step 128, a data demand is carried out at step 126 until it judges whether the response, i.e., consciousness data, was outputted and is affirmed from the are recording server 83.

[0110] If affirmative judgment is carried out in step 128, it progresses to step 130, and while receiving the consciousness data outputted from the are recording server 83, it will investigate. At the following step 132, correlation analysis is performed based on the results of an investigation of the above-mentioned step 130, and the analysis result of the above-mentioned step 132 is shown in the following step 134. Presentation of this analysis result may transmit through a communication line 88 towards the user computer 85 defined beforehand, and may be stored possible [ ejection ] as data.

[0111] At the following step 136, it judges whether a community is generated based on an analysis result. This decision criterion can be easily judged by setting up whether a community is generated

automatically beforehand. Moreover, there are a repository, ML (mailing list), Forum (forum), etc. in the community which generates automatically. If denied at step 136, this routine is ended as it is, and if affirmed, this routine will be ended after generating a community automatically in step 138.

[0112] <The example of concrete processing of an analysis server>, next concrete processing of the analysis server 81 are explained. Processing of an analysis server is divided roughly into investigation and analysis.

[0113] (Investigation) Investigation is made using the reply information classified at the view of an organization, knowledge, an individual and knowledge, and the place and knowledge that the candidate answered using above-mentioned format information. That is, the thing corresponding to the following investigations is beforehand set up from the data of each matter of reply information, and it considers as the data used for investigation by extracting it.

[0114] With the gestalt of this operation, investigation of two classifications with knowledge strategy investigation (investigation A) of an organization and works tile investigation (investigation B) of the candidate of an organization is adopted.

[0115] (Knowledge strategy investigation of an organization) There is investigation (investigation A2) among the knowledge strategy investigations of an organization whenever [ knowledge property investigation (investigation A1) and knowledge management ].

[0116] Knowledge property investigation (investigation A1)

This investigation is investigating, knowledge property, i.e., intellectual capital, important for an organization. In other words, it is investigating the property (profit-property) 36 shown in drawing 1 of expressing the fountainhead of the profit of the present and the future. An organization can be divided by classifying current and a future competition predominance for the candidate of an organization as a view in consideration of the following three knowledge fields as a result of this investigation.

[0117] (1) For an organization, biaxial [ of x (degree of concentration of knowledge) (whenever / change / ) ] can quadrisect an organization for an important current knowledge field (2) organization as a knowledge field (3) individual who will become important in the future by accumulating the information on the above-mentioned knowledge field (1) and (2) about the knowledge field (constituent), i.e., the candidate of the same organization, which is contributing to the construction. That is, as shown in the image 46 of drawing 1 , while setting a division shaft as the data which are not which, either about the advanced low degree of the degree of concentration of knowledge, an organization can be quadrisected by setting a division shaft as the data which are not which, either about the advanced low degree of whenever [ change ] (it has indicated as (1), (2), (3), and (4) in the image 46 of drawing 1 ). Moreover, the organization classified into four can be further classified into a present condition strengthening mold and a change mold according to distinguishing whether the contribution field of a knowledge field (3) has visited the knowledge field (1), or the knowledge field (2) is visited. That is, as shown in the image 48 of drawing 1 , an organization can be further classified into a present condition strengthening mold and a change mold according to giving the advanced low degree of the contribution of knowledge to an image 46.

[0118] In this investigation A1, the above-mentioned knowledge property model 50 is employable.

[0119] An example of the results of an investigation of a company was shown in drawing 7 . In each cel, significance recognition of current [ which was obtained as results of an investigation ] and future knowledge property is shown. Namely, in each cel, current significance recognition is made into a numeric value, the significance recognition value of 54 Ns is shown and significance recognition value 54F are shown by making future significance recognition into a numeric value. Moreover, the arrow head 56 showed the inclination of significance recognition of the knowledge property from current to the future.

[0120] Moreover, some the ball 58 is indicated to be are in a cel. This ball 58 is the cel itself on which CKO (the officer specializing in knowledge: top management people who have responsibility in knowledge management) of that company put coin. A ball 58 is laid in either current and the future about the cel which CKO assumes. In the example of drawing 7 , it can grasp that the present predominance considers that CKO is the empirical knowledge about a customer, the empirical

knowledge which an individual and an organization hold, the concept construction force, etc. And it can grasp thinking that those importance falls and the specific gravity of knowledge property must be changed to more systematic things, such as a database and structure of a document and customer maintenance, in the future. The almost same common recognition as this is seen also among the personnel of this company. This is clear also from the inclination of the arrow head 56 shown in drawing 7.

[0121] By the results of an investigation about this knowledge property, in addition to the knowledge property used as the fountainhead of the present strong point, the knowledge property which must newly be acquired towards the future is what, or each company can know clearly.

[0122] Moreover, each company member can grasp the contribution to the knowledge property of each company member to 12 cels 52A-52L shown in drawing 6 by asking for the input of which is contributing to creation and construction of the knowledge property, respectively.

[0123] It can be shown clearly for it who is contributing to construction of the knowledge property which should gain who is contributing to important knowledge property by this for the company in the future again.

[0124] The 1st consciousness data into which this was inputted by two or more candidates and which carried out [ above-mentioned ] are recording, And computed the number of inputs for every knowledge item with the 2nd consciousness data, and were inputted by further two or more candidates. It is equivalent to accumulating the information about a candidate's own contribution in two or more knowledge items as 3rd consciousness data, and specifying the candidate who inputted the data about said contribution in the selected knowledge item.

[0125] In this case, the works tile made into the ideal beforehand remembered to be works tiles which are memorized beforehand, and which process interaction (a dependency and relevance) with the persons concerned in the autonomy and work over work and work, such as a location, is compared about the specified candidate, and that difference can be shown.

[0126] Next, knowledge creation of the worker who is contributing to construction of the knowledge property which should be acquired in the future should be supported how, or it diagnoses from each worker's works tile. This diagnosis is performed using a predetermined diagnostic program. At the gestalt of this operation, it is the time of DEGW. The you tee RIZENYON survey (TUS) is used. A knowledge worker can be classified into four works tiles according to this TUS. The result is shown in following drawing 8.

[0127] In drawing 8, it shall have become settled from the relation between independence nature and dialogism as a thing corresponding to the image 42 of drawing 1 supposing distribution of the "consciousness" about a works tile. That is, as the image 60 showed, an axis of ordinate is set as dialogism, an axis of abscissa is set as independence nature, and the distribution is considered as distribution of the "consciousness" about a works tile. Moreover, it shall have become settled as a thing corresponding to the image 44 of drawing 1 from the relation between the location to commit and the gestalt of business supposing actual "action." That is, as the image 62 showed, an axis of ordinate is set as the rate committed in the location of office inside and outside, an axis of abscissa is set as the rate of routine business and creation business, and the distribution is considered as the distribution about actual "action."

[0128] Each classification can be quadrised by setting a division shaft as the data which do not correspond to which selection branch about distribution of these "consciousness", and distribution of "action." From the classification to which these images 60 and an image 62 correspond, as shown in the image 64, it can ask for to any of four classifications of a knowledge works tile it corresponds. Four classifications of a knowledge works tile are classifications of a nomade mold worker, an agent mold worker, a keeper mold worker, and an analyst mold worker.

[0129] That is, how much this classification being committed in the inside of office and outside, respectively and time amount allocation of steady business and the business which needs concentration are equivalent to having used the "consciousness index" specified by whenever [ autonomous ], and whenever [ dialogue ] in addition to the "action index" how to be. By multiplying these two,

"consciousness" and "action" call those who practice the creative and interactive works tile a nomade mold worker.

[0130] A nomade mold worker has high independency and creativity, and the circumference of a walk is made frequent, it is the worker who has a works tile with many dialogues with the others, and 29.8% of the whole worker is distributed in the example of drawing 8 which shows the result of having investigated all 1186 samples. Moreover, although the autonomy of an analyst mold worker is high, it is a works tile with few in klaxon horns with others, and 33.8% of the whole worker is distributed. An agent mold worker is a works tile with a high in klaxon horn, although independence nature is low, and 19.8% of the whole worker is distributed. On the other hand, a keeper mold worker is a works tile also with low independence nature and interaction, and 16.6% of the whole worker is distributed.

[0131] There is preparing a call center specifically preparing a mobile work-piece environment for the support suitable for the works tile, or performing information offer directly, if the worker who is contributing to important knowledge property construction is a nomade mold worker etc. With a mailing list or a substantial know-how database, it makes it an analyst mold worker to prepare an environment etc. so that required knowledge can be acquired on a desk.

[0132] Moreover, the works tile description of a section can be seen by how many workers of a type are distributed in these in each section of the company which investigated. There is carrying out environmental construction which suited the works tile description of the section indirectly about the section used as a key, i.e., a section with many workers who are contributing to important knowledge property construction, by the contribution to important knowledge property construction etc.

[0133] It investigates whenever [ knowledge management ] (investigation A2).

This investigation is investigating the requirements for knowledge management being satisfied. In other words, it is investigating the property (knowledge management property) 34 of knowledge management shown in drawing 1. This investigates whether about each item of (1) vision, (2) practice capacity, (3) technology, and (4) culture \*\*, the requirements for knowledge management are mentioned and it is filled. The classification according to the degree of being a success of knowledge management by this investigation can be performed.

[0134] As shown in drawing 9, plurality (the gestalt of this operation ten pieces) is asked for the property 34 of knowledge management shown in drawing 1 to vision 66A, culture 66B, practice capacity 66C, and four items of technical (it consists of technique and method) 66D, and, more specifically, it asks for whenever [ knowledge management ] from the reply. Vision 66A expresses a clear strategy intention (a management-strategy intention and enterprise strategy intention) of top management people, and culture 66B expresses the learning environment which cherishes a knowledge community. Practice capacity 66C expresses the practice capacity of knowledge best practice (consciousness reform and organization reform), and technical 66D expresses IT, in addition the method which support practice activities.

[0135] Moreover, about "a clear strategy intention of top management people" of for example, vision 66A, to the question of 10, "whether top management people are telling repeatedly about the importance of knowledge" etc. obtains a reply in five steps of ("5") to very much applied "(1) which is not applied at all", respectively, totals it, and the question about each item decides the point of the item it. [ it ] Whenever [ knowledge management / of each section ] can be investigated by totaling the point of each of this item.

[0136] (Works tile investigation of the candidate of an organization) There are time amount and location activity investigation (investigation B1), and human network investigation (investigation B-2) as works tile investigation of the candidate of an organization.

[0137] Time amount and location activity investigation (investigation B1)

This investigation is conducting investigation about the method of work on the 1st -- where [ autonomy, the degree of a dialogue, and ] business's etc. being processed about an individual works tile (henceforth work). In other words, it is each which was shown in drawing 1 working and investigating the property (time amount and property regarding the place) 30 of the direction. In consideration of the method of following two tasks by the candidate of an organization, an organization can be divided by classifying a

works tile as a view as a result of this investigation.

(1) Biaxial [ of x (dialogism) (autonomy) ] can quadrisection an organization independently [ how much ] work is carried out and by moving about how much [ (2) ], and carrying out work, or accumulating the information on the method (1) of the above-mentioned work, and (2) about the candidate (constituent) of the same organization. That is, as shown in the image 42 of drawing 1 , while setting a division shaft as the data which are not which, either about the height of a candidate's dialogism, a works tile can be quadrisectioned by setting a division shaft as the data which are not which, either about the height of autonomy (it has indicated as (1), (2), (3), and (4) in the image 42 of drawing 1 ).

[0138] Human network investigation (investigation B-2)

This investigation is conducting investigation about a share and relation after that a candidate's works. In other words, it is the thing in the organization which showed drawing 1 for which it works and the property (network-property) 32 of the direction is investigated. This investigation B-2 has the next community investigation.

[0139] community investigation -- in case required knowledge is acquired, it investigates whether it is dependent on (1) workgroup, (2) project teams, (3) community OBU plaque TISU (practical network), (4) informality network (informal network), and the human network of a throat. The dependency about the human network of the works tile of the candidate of an organization can be grasped as a result of this investigation. That is, as shown in the image 44 of drawing 1 , the dependency about a human network can be grasped about a candidate's activity by connecting each dependence of a workgroup, a project team, community OBU plaque TISU (practical network), and an informality network (informal network).

[0140] (Correlation analysis) Analysis is made by correlation analysis based on the data obtained by above-mentioned investigation. With the gestalt of this operation, correlation analysis about the relation of the between as a result of two investigations is performed. Next, an example of correlation analysis is given.

[0141] Analysis between intellectual property investigation and works tile investigation (correlation analysis C1)

In this correlation analysis C1, the flexibility of the organization which made a candidate's works tile the view can be analyzed, and the analysis result of being the organization of a present condition strengthening mold inclination or a change mold inclination can be obtained about a knowledge property strategy. For example, if the knowledge property strategy aims at the change mold, a works tile must have the strong both sides of autonomy and external orientation.

[0142] With the gestalt of this operation, from transition of the knowledge from the present to the future, as a result of carrying out correlation analysis about the sample data (consciousness data) of a total of 1186 pieces, as shown in drawing 10 , class KURINGU was able to be carried out at four patterns. An I-beam is the cluster of recognition that it must reform from the strong point of a brand or a product concept to the structure which can demonstrate organizing ability. II mold is a cluster which systems, such as IT, share it for the thing depending on \*\*\*\*\* which business and an engineer have, and is called the method of \*\*\*\*\* to organizing ability. And an III mold and IV mold are the clusters that the strong point of the \*\*\*\*\* till then, or a brand/concept will be maintained, and it will strengthen further more. Thus, it can divide into four clusters.

[0143] Classifying into this cluster displays two or more knowledge items which include the item about experiential knowledge, and the item about finite knowledge at least. While accumulating the knowledge item important for the organization to which those candidates belong now inputted by two or more candidates as 1st consciousness data and computing the number of inputs for every knowledge item The knowledge item which was inputted by said two or more candidates and which becomes important for the organization to which these candidates belong in the future is accumulated as 2nd consciousness data. The number of inputs for every knowledge item is computed, the calculation result about said 1st consciousness data is compared with the calculation result about said 2nd consciousness data, and it is equivalent to classifying said organization into two or more types based on the comparison result.

[0144] When the worker who showed the I-beam and II mold among each [ these ] pattern looks at [ whether you are a worker with high autonomy, and ] the rate, it can be confirmed whether the company is actually going to the change.

[0145] Analysis between knowledge property investigation and human network investigation (correlation analysis C2)

In this correlation analysis C2, the flexibility of the organization which made a candidate's human network the view can be analyzed, and the analysis result of being the organization of a present condition strengthening mold inclination or a change mold inclination can be obtained about a knowledge property strategy. For example, if the knowledge property strategy aims at the change mold, a human network must have a strong community OBU plaque TISU dependence.

[0146] In the example of the gestalt of this operation, when the worker who showed the I-beam and II mold among each pattern shown in drawing 10 looks at [ whether the community OBU plaque TEISU dependence of the image 44 of drawing 1 is strong, and ] the rate, it can be confirmed whether the company is actually going to the change. In addition, it is the same also about the correlation analysis C3 explained below thru/or C6.

[0147] Analysis synthesize works tile investigation and human network investigation, and according to knowledge property investigation and a comparison (correlation analysis C3)

In this correlation analysis C3, the contribution to knowledge property can be analyzed and an organization can be analyzed by making a candidate's works tile and human network into a view. For example, correlation is investigated between the autonomy and external orientation of a works tile, and the dependence of a community (human network). autonomy / external orientation -- it community [ group orientation / ]-directs, and can come out and classify into four. The man of a classification of these each set elephant person can grasp how much it is contributing to knowledge property, respectively.

[0148] It is analysis between investigations (correlation analysis C4) whenever [ knowledge property investigation and knowledge management ].

In this correlation analysis C4, transition of knowledge property can be analyzed and an organization can be analyzed by making knowledge management of an organization into a view. For example, the continuity and improvement nature of whenever [ knowledge property management ] can be obtained as an analysis result with confirming whether knowledge management has succeeded and whether when investigating on an evaluation shaft continuously, the improvement in whenever [ knowledge property management ] and the shift to the way knowledge property should be are proportional to it.

[0149] It is analysis between investigation and works tile investigation (correlation analysis C5) whenever [ knowledge management ].

In this correlation analysis C5, transition of knowledge property can be analyzed and an organization can be analyzed from the knowledge management of an organization, and the view of a works tile. For example, when knowledge management investigates [ whether it has succeeded and or not ] continuously in evaluation, the continuity and improvement nature of whenever [ knowledge property management ] can be obtained as an analysis result with confirming whether the improvement in whenever [ knowledge property management ] is proportional to the shift to the way a works tile should be.

[0150] It is analysis between investigation and human network investigation (correlation analysis C6) whenever [ knowledge management ].

In this correlation analysis C6, transition of knowledge property can be analyzed and an organization can be analyzed from the knowledge management of an organization, and the view of a human network. For example, when investigating [ whether knowledge management has succeeded and ] continuously on an evaluation shaft. The continuity and improvement nature of whenever [ knowledge property management ] can be obtained as an analysis result with confirming whether the improvement in whenever [ knowledge property management ] is proportional to the shift to the way a human network should be.

[0151] By these analysis, the difference between the future of knowledge property and the present and



the inclination from the present to the future can be derived. Moreover, it can also derive how the knowledge property which should be raised in the future is drawn from the difference between the future of knowledge property, and the present.

[0152] Investigation and analysis are carried out using the data collected and stored from the candidate of the above and an organization, and a community is generated based on an analysis result. A works tile generates this community for the candidate with the strong both sides of autonomy and external orientation by the analysis result, for example. In an in-house, the community according to the purpose is generable with this. The criteria for generating this community may be defined by the input by the manager who set beforehand, and the input value aiming at the improvement in knowledge property may be defined beforehand. Moreover, the community where degree of concentration consists of a high candidate may be generated for every analysis result.

[0153] Specifically, a community is a set of the worker who has the common description in a certain viewpoint. Generation of a community means making communication generous by visualizing the network to the worker itself to the worker group connected with a certain viewpoint. further -- concrete -  
- (1) -- it is the community connected with what -- (2) -- the data who the member of the community is are notified to all the members. For example, the automatic configuration of the Web page of a community is carried out, the forum which can do an argument electronically is offered or there is the approach of offering the mailing list of the electronic mail for a community.

[0154] In addition, generation of the above-mentioned community may be performed automatically periodically, and may be performed by a manager specifying. Moreover, you may be such combination.

[0155] (1) to which the following are in the generation method of a community -- (2) which narrows down a worker with the consciousness over similar knowledge property -- (3) which narrows down the worker who contributes to similar knowledge property construction -- (4) which narrows down the worker of a similar works tile -- a worker with a similar human network inclination is narrowed down -- again -- above-mentioned (1) - (4) -- you may also narrow down to a detail further with such combination.

[0156] (5) which can also be further narrowed down to the above-mentioned generation method according to the following item -- or it belongs to which section -- the works tile inclination of the height (9) section of the knowledge property contribution of the height (8) section of whenever [ occupational description / what kind of / or knowledge management / of (6) (7) section ] -- that is, [ furthermore, ] The result narrowed down with at least one generation method of above-mentioned generation method (1) - (4) may be further narrowed down by above-mentioned item (5) - (9), and a community member's \*\*\*\*\* is sufficient.

[0157] Thus, the result of having carried out investigation and analysis using the data collected and stored from the candidate of an organization is stored, by the input which the user specified, a community may be searched or the community which consists of other candidates, such as a knowledge property type which a user has, a knowledge property type approximated based on a works tile classification etc., and a works tile classification, may be searched. By generating the repository and mailing list for the community discovered by this retrieval, and notifying a participant, it is in an in-house and a community can be built significantly.

[0158] In addition, although the case where investigation and analysis were carried out was explained above using the data collected and stored from the candidate of an organization, in order to raise the knowledge property which becomes important as the whole organization in the future, it diagnoses how a knowledge work piece should be supported, and a community can be strategically built according to the directivity.

[0159] Moreover, although the case where investigation and analysis were carried out was explained above using the data collected and stored from the candidate of an organization, this invention is not limited to the investigation and analysis of one organization. For example, about each of two or more organizations, investigation and analysis may be carried out and you may compare in quest of the correlation during an organization.

[0160] In addition, with the gestalt of the above-mentioned implementation, although the company was

targetted as an organization, this invention is not limited to this. For example, it is possible to treat as an organization the assembly which performs the same activity and the same work, and a group. Moreover, as an organization, when a company is employed, the result of having investigated two or more companies of the same trade is treated as the population, and it also becomes possible to search for the difference about the company which becomes a candidate for investigation. In this case, results of an investigation become easy [ also deriving an inclination ] for the self company (their post and a group are included) to the other company in the same trade.

[0161] Moreover, although the gestalt of this operation explained the case where an organization was targetted, this invention is not limited to this, either. For example, the aggregate of people who gather in the area of arbitration can also be treated as an organization. Thus, by treating, it also becomes possible to take regionality into consideration.

[0162] Furthermore, it is not limited to assuming the same trade, the same activity, and work as a company or an assembly (group). For example, a different type of industry, a different activity, etc. may be assumed. What is necessary is for this to be because for it not to be limited to defining the company which considers as the candidate for a comparison, and an assembly, and just to define it by as which object self evaluation is set.

[0163] It stores in the magnetic-disk media as a record medium, and the manipulation routine and the various functions of a gestalt of this operation can circulate them. In this case, a manipulation routine etc. can be written to magnetic-disk media by having magnetic-disk media read/write equipment which is not illustrated using the magnetic-disk media read/write equipment which is not illustrated. Therefore, the manipulation routine etc. is beforehand recorded on magnetic-disk media, and the processing program recorded on magnetic-disk media through the magnetic-disk media read/write equipment which is not illustrated may be performed. Moreover, large capacity storage (illustration abbreviation), such as a hard disk drive unit, is connected to a computer, and the processing program recorded on magnetic-disk media is stored in large capacity storage (illustration abbreviation) (install), and it may be made to execute it. Moreover, what is necessary is to replace with the magnetic-disk media read/write equipment which does not carry out [ above-mentioned ] illustration, or just to use CD-ROM equipment, MD equipment, MO equipment, DVD equipment, DAT equipment, etc. further, when there are magnetic tapes, such as disks, such as CD-ROM, and MD, MO, DVD, and DAT, and these are used as a record medium.

[0164]

[Effect of the Invention] The consciousness data which express the knowledge property which each which is consciousness data about two or more candidates who can set in an organization has, and the description property about action according to this invention as explained above are collected and stored. Since the stored consciousness data are analyzed and an analysis result is shown as information about an organization The relation of the description property about a candidate's [ an organization, a candidate's knowledge property and an organization, or ] action can be analyzed and shown, and it is effective in the ability of the degree of freedom which is not limited only to knowledge to derive a high analysis result.

---

[Translation done.]